
らき すた&けいおん！逃走中

D-JUN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らき すた&けいおん！逃走中

【NZマーク】

N1460P

【作者名】

D-JUN

【あらすじ】

らき すたとけいおん！のキャラガ
とある夜の遊園地に集まつた。

そして、恐怖の逃走劇が始まる・・・

まつひこ

はじめまして、
D・っここと申します。

逃走中が好きだけで、書けりつとこりつ懸か者です。

なぜ、らき すたと
けいおん!かといづと、なんとなくです…

言つておくと、文才は皆無です！

へたくそです！

国語の成績は全教科中一番悪かったです。
あと、発想は貧困です。
それでも良い方は…。
考えてから読んでください。

次回で出るキャラクと
エリアなどの詳細を
載せます。

ではまた

こんな私をどうかよろしくお願いします。

・・・最後までやれるかな？

キャラ紹介（前書き）

今回はキャラ紹介です。名前と田標金額を載せます。

キャラ紹介

らき すたメンバー

泉こなた

目標金額96万円

柊つかさ

目標金額30万円

柊かがみ

目標金額50万円

高良みゆき

目標金額50万円

田下部みさお

目標金額96万円

峰岸あやの

目標金額96万円

八坂こう

目標金額96万円

山辺たまき

目標金額96万円

毒島みく

目標金額 96万円

永森やまと

目標金額 40万円

小早川ゆたか

目標金額 30万円

岩崎みなみ

目標金額 50万円

田村ひより

目標金額 50万円

パトリシア・マーティン

目標金額 96万円

若瀬いずみ

目標金額 96万円

けいおん!メンバー

平沢唯

目標金額 96万円

秋山澪

目標金額 96万円

田井中律

目標金額 96万円

琴吹紬

目標金額 30万円

中野梓

目標金額 96万円

真鍋和

目標金額 50万円

平沢憂

目標金額 96万円

鈴木純

目標金額 96万円

以上23人で

逃走中を行います。

キャラ紹介（後書き）

次回いよいよ
ゲームが始まる・・・

エリア詳細～夜の遊園地～（前書き）

忘れてた・・・
エリアは
こんな感じです。

エリア詳細～夜の遊園地～

逃走の舞台は
とある夜の遊園地

イルミネーションが輝く
アトラクションエリアと
漆黒の闇と月の光が
支配するイベントエリア、
建物が多いレジャーエリア、
更に、ライトアップされたセントラルエリアが存在する。

アトラクションエリアは、
遊園地の北部の方にあり
絶叫マシーンの他に
室内アトラクションも
たくさん存在する。

イベントエリアは、
園内の奥側に位置し、
ワイワイ広場、ミュージックホールなどの
イベント会場が存在する。

レジャーエリアは、
入口付近にあり、

従業員などの関係者用の施設とショッピング、レストランが存在する。

セントラルエリアは、

その名通り中央にあり、キャッスルや噴水広場などの

シンボルが存在する。

ちなみに、

入口は南東部にあります。

エリア詳細～夜の遊園地～（後書き）

オープニングゲームが
始まる・・・

オープニングゲーム(1)（前書き）

ゲームが始まる・・・

オープニングゲーム(1)

とある夜の無人の遊園地・・・

漆黒の闇と

華やかなイルミネーションが彩るこの場所に

23人の逃走者達があつめられた。

恐怖の逃走劇がいま始まる・・・

「これよりゲームを始める」

不気味なアナウンスが流れる。逃走者に緊張が走る。

「君たちの前にある3体のハンターは
ボックスの中に閉じ込められている・・・」

「目の前にある色分けされた鎖は全部で23本・・・
そのうち1本だけがボックスの扉を開放するハズレの鎖・・・」

「それを引くと3体のハンターが解き放たれゲームがスタートする・
・・」

ハンターまでは20m

逃走者は1人ずつ鎖を引き抜かなければならぬ。
ハズレを引けば

ハンターが目の前の逃走者に襲い掛かる。

鎖を引く順番はくじ引きにより決定した。

「こなた」「よつと。ああ～、19番かあ。」

かがみ「ええ！ 1番！ ？」嘘でしょ。」

唯「22番かあ。」

律「おつ、5番？ よしつこいで」

最初に鎖を引くのは
柊かがみ

かがみ「わつ、怖い・・・」

「こなた」「かがみん、何色〜？」

かがみ「・・・紫ー」

つかさ「なんで？お姉ちゃん」

かがみ「なんとなくよ。行くわよ。」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

かがみ「いくよー。」

ジャラッ！

かがみ「・・・大丈夫！」

つかさ「えへ、ドキドキする・・・」

律「こんな状態が続くのかよ」

かがみ「じゃあお先に〜」

柊かがみ クリア

残る鎖は22本

2人目は若瀬いずみ

いずみ「わつ、テレビと違う。ホントに怖いー。」

パティ「イズミ、ナーリロヒますか？」

いずみ「うーん・・・じゃあ、銀色で」

ひより「なんでっすか？」

いずみ「きれいだから」

ひより「単純っすね。」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

いずみ「いきます！」

ジャラツ！

いずみ「・・・セーフ！やつた！」

唯「いいなあ～」

こう「この時間けつこつきついで。」

若瀬いずみ クリア

残る鎖は21本

3人目は中野梓

梓「どうじょ～」

唯「がんばれあずにゃん！」

澪「がんばるも何も運だろ。」

そう・・・

このゲームに必要なのは
運だけ・・・

ハズレの鎖を引く確率は

21分の1・・・

梓「決めました。」

こなた「何色？」

梓「赤です。」

こなた「なんでも？」

梓「私のギターの色です。」

じう「ええ～、赤って不吉じゃね？」

梓「いえ、赤を引きます！」

クリアか・・・
ハンター放出か・・・

梓「・・・引きます！」

ジャラツ

梓「・・・あつ、やりました！」

中野梓 クリア

残る鎖は20本

4人目は小早川ゆたか

ゆたか「わわつ、ほ、本当に怖い

こなた「おーちゃん、何色~？」

ゆたか「え、エリック君。」ひよつ「おいくつでここに来る。わ
っくつで」

だが、時間がかかるほど
恐怖も長く感じしる・・・

ゆたか「じゅあいれ・・・朱色にしてます。」

こなた「なんで~?おーちゃん」

ゆたか「一番近くであつたから・・・」

クリアか・・・
ハンター放出か・・・

ゆたか「こります。」

ジャラシ

金剛「おお~」

小早川ゆたか クリア

ゆたか「良かつた。はあ・・・まだドキドキしてゐる。」

こなた「おーちゃんがんばれ~」

残る鎖は19本

オープニングゲームは
まだ終わらない・・・

オープニングゲーム（1）（後書き）

いよいよ始まりました。
さて、ここまで4人が
クリアしました！

鎖を引くのは
いつたい誰だ！

オープニングゲーム(2)（前書き）

残る鎖は19本

ハズレの鎖をひくのは誰だ・・・

オープニングゲーム(2)

残る鎖は19本

5人目は田井中律

律「よつしやー」

唯「りつちせん何い」「金色」

漆にいざむ

律一最初から決めてた！」

澪一 もう引くのか！？

律 引く！行 くぞ！」

ケリアカ・・・

卷之三

ジャラシ

律「よーし」

田井中律
クリア

澪「いろいろのペースも考えねー。」

唯「早すぎだよ~」

律「へへへ（笑）じゃあ、じつれ~」

残る鎌は18本

6人目は田村ひより

ひより「間近で見ると怖こいつすね~」

こなた「ひよりん、何色~？」

ひより「ピンク色でー。」

こなた「なんで~？」

ひより「好きな色なのと、ピンクは安全そりだからですー。」

「う~じやあ引く?」

ひより「引きますー。」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

ひより「いくすよ~」

ジャラッ

ガコン！！！

ひより「…わ～～～！」

全員「…わ～～～！」

START

ハンターが放出された…

ハンターの視界には…

ピ―――

ひより「ヤバイ！ヤバイっす！」

田村ひよりだ…

ひより「うわっ！」

ボワン

田村ひより 確保

残り人数22人

残り時間79分49秒

ひより「ハア、ハア…早い～もう終わつた…」

まさに瞬殺…

ピリリッピリリッピリリッ

かがみ「確保情報…あつ、田村さん捕まつた！」

「いや、やつぱ捕まつたかあ～」

パーティ「ヒヨリがヒくとはオモイませんデシタ。」

梓「…始まりました。」

律「おお～、始まつたぞ～」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる・・・
それが・・・

run for money

逃走中

逃走劇の舞台は

ひとけのない夜の遊園地。

イルミネーションや

ライトアップされたお城が目立つ明るいエリアと

月の光と

闇が支配するエリアの

両極端に分かれる。

広さは東京ドームおよそ3個分。
敷地内全てエリアとなるが、
建物内は基本侵入できない。
この中を22人の逃走者は
3体のハンターから逃げまわる。

こなた「もつ、一万円だ。」

純「どんどんお金が貯まつてく
」

賞金は1秒で200円ずつ上昇。80分間逃げ切れば何人でも96万円を獲得できる。

たまき「ヤバいなあー、自首もありだなあー

更に、

このゲームは自首もできる。

エリア内3ヶ所にある

公衆電話に自首を申告すれば、

その時点の賞金を獲得でき、ゲームからリタイアとなる。

ただし、ハンターに捕まれば賞金は0。
彼らは脅威のスピードと

持久力を併せ持つ。

逃げ切るのは容易ではない！

アトラクションエリアに

身を隠す秋山澪・・・

澪「…怖い」

相当怯えている・・・

澪「どうしよう…もつ動きたくないよ…」

この場所を離れるつもつはなによつだ…

イベントHリア内の

グリーングリーンにいるのはハ坂こう

こう「動いてた方がいいよなあ。見つかっても大丈夫そうだし。」

こちらは隠れるつもりはなによつだ…

そんな、こうの近くに

みく「やむじがいる…」

毒島みくがいた…

みく「よく堂々と歩けるなあ。」

茂みに隠れる作戦のよつだ…

彼女達の近くに…

ハンターだ…

こう「あつ、ヤバいいる！

気付かれた…

「うわっ！ 来たっ！」

こうが逃げた先には・・・

みく「・・・」

みくだ・・・

じつ「ハアツ・ハアツ・・・」

奥の茂みを利用して

ハンターを撒いたようだ・・・

だが、ハンターはまだ近くを搜索している・・・

じつ「・・・今のうちに離れよっ！」

みく「じつち来ないで・・・」

・・・ハンターが誰かに気付いた！
見つかったのは・・・

みく「・・・イヤツ・・・」

みくだ・・・

ザツザツザツザツ

ハンターに見つかり
逃げるが・・・

ピ――――

氣付くのが遅かった・・・

みく「イヤー――ツ！」

ボワン

毒島みく 確保

残り人数 21人

残り時間 77分29秒

みく「ハアツハアツ…嘘でしょ…」

作戦失敗だ・・・

ピリリッピリリッピリリッ

たまき「！…びっくりした！なに…メール。毒島みく確保！？毒
さん捕まつた！？早い！！」

「う」「グリーングリーンにてって近くにいたの？」

情報はメールで通知される

和「…うそ…ハンターって、あんなに速いの？」

同じくグリーングリーンにいた真鍋和・・・
みくの確保を偶然見たようだ・・・

和「見つかったら捕まるって…」

その頃、

遊園地の入口付近に

逃走者とは違う人影があつた

・
・
・

オープニングゲーム（2）（後書き）

小説内に出てきた
グリーングリーンは

イベントエリア内にある

野原と木々のある場所です。

普段は野外スポーツをするための広場です。

入口には怪しい人影・・・
いつたい誰なのか・・・

「異変」遊園地の事件（前書き）

すでに2人がハンターに捕まり、残るは21人
そして、怪しい人影の正体は・・・

～異変～遊園地の事件～

遊園地の管理室

そこには1人の警備員がいた

警備員「…そろそろ巡回の時間だ。」

広大な遊園地をたつた1人で見回りするとは
とても考えられないが
それが彼の仕事である。

巡回の準備中、

入口のモニターを見た・・・

警備員「んつ、誰だ？」

怪しい人影を発見・・・

警備員「怪しいな」

急いで部屋を出る警備員

そして・・・

警備員「君！そこで何をしている！」

? ? ? 「あっ、す、すいません。」

警備員「こんな時間に…ってあれ…あなた、もしかして、明日のク
ラシックコンサートに出る…」

？？？「あつ、はい。チHリストの佐竹雄太郎です。」

警備員「やはり、そうでしたか。でも、どうしてこんな時間にここへ？」

佐竹「…じつは、花を供えたくて…」

警備員「花？…あつ、ひょっとして3年前の事件の…」

3年前、

ミュージックホールで3人の音楽家が亡くなった。

それも…
とても悲しい事故だった…

警備員「…関係者だつたんですか…」

佐竹「ええ…親友でした。明日…もうすぐ、今日になりますね。命日なんです…どうしても、はやく来たかったもので…」

警備員「…そうでしたか…」

佐竹「やはり、無理ですよね…すいません、私はこれで「かまいませんよ。」

佐竹「…えつ、でも…」

警備員「大丈夫ですよ。そういう理由でしたら、ぜひやー。」

佐竹「つーありがと「ひー」やーますー！」

そつ言つて、遊園地に入つたときだつた・・・

? ? ? 「 ……「めんなさい…」

警備員「えつ、佐竹さん?なんですか?」

佐竹「はい?何がですか?」

警備員「こま、「めんなさい…」

佐竹「私はなにも言つてないですよ…」

警備員「えつー!でも…」

? ? ? 「「めんなさい…」

警備員「…今のはー?」

佐竹「この頃…まさか、奏?奏なのか?」

その時だつた。

バンツー!バンツー!バンツー!

警備員「つーなんだー?」

佐竹「！照明が！！」

無論、これは逃走者にも・・・

バンツ！バンツ！バンツ！

澪「！キヤア！なに？なに？」

つかさ「…ひやつ…ま、真つ暗！」

こなた「なにが起つてるの？」

更に・・・

みさお「真つ暗で何も見えねえ…ってあれ？…なんで、ベスト光つ
てんだ〜？」

いづみ「なにこれ〜！？」

みゆき「これじゅ田立ちすぎです！」

突如起つた停電・・・

更に、発光した逃走者・・・

いつたいなにが起つているのか！？

～異変～遊園地の事件～（後書き）

ミュージックホールは

イベントエリアにある、

クラシック音楽の会場です。

3年前の10月にある事件が起こった場所でもあります。

逃走者に突如起こった停電と発光・・・
いつたいどうなつてしまふのか！？

MISSHOZI(1) (前書き)

つこじま シヨンが
始まります！
どんなミッションが出てくるのか?
お楽しみに。

MISSION 1 (1)

突如起つた停電と
発光した逃走者。

やまと「どうなってるの…？」

純「ハンターに見つかっちゃつて」

ピココシピココシピコシ

メールだ・・・

かがみ「なによ。こんな時…//シシヨンーー」

あやの「ヒリア内で突如停電が発生し、君たちの発光ベストも突然光りだした。」

憂「発光を解除するには、腕にある解除装置に他の逃走者の持つカードキーを通してなければいけない」

これかな…

紬「ただし、カードキーは一度しか使えず、同じ色に発光している者同士でやり合わない意味がない。『ええっ！』

MISSION 1

発行を止める！

エリア内の照明が全て消え、

逃走者の身につけている発光ベストが光りだした。

このままでは、

ハンターの恰好の標的となる。

それを阻止するには、

自分以外の逃走者と出会い、相手が持つカードキーを解除装置に通さなければならぬ。

ただし、カードキーは一人一枚ずつ持っているが一度しかつかえず

同じ色に光る者同士でやらないと意味が無い。

なお、照明はいつ復旧するかはわからない・・・

発光ベストの光の色は全部で4色。

赤・青・黄色・緑である。

逃走者の光の色は

このようになつてゐる・・・

赤

泉こなた

高良みゆき

岩崎みなみ

若瀬いずみ

中野梓

鈴木純

青

柊かがみ
峰岸あやの

山辺たまき

平沢唯

真鍋和

黄色

柊つかれ

毒島みく（確保）

永森やまと

田村ひより（確保）

田井中律

琴吹紬

緑

日下部みさお

八坂こつ

小早川ゆたか

パトリシア・マーティン

秋山澪

平沢憂

なお、逃走者は誰がどの色に光るかを知らない・・・
ゆたか「どうしよう・・・」

イベントエリア、

ワイワイ広場にいた

小早川ゆたか・・・

ゆたか「みなみちゃんに電話・・・」

逃走者同士で通話可能

ピココロッ・・・

みなみ「…電話…ゆたかから」

ピッ

みなみ「ゆたか?」

ゆたか「みなみちゃん、ベスト何色?」

みなみ「…私は赤…ゆたかは?」

ゆたか「私は縁…」

みなみ「わ~…今ダーリン~」

ゆたか「えつ?わ、ワイワイ広場だけど…」

みなみ「…じゃあそつち行く~

ゆたか「ええつ?…でも、色が…」

みなみ「…しそうひがせば…」…すぐ行く

ピッ

ゆたか「みなみちゃん…」

みなみ「...」がター・ボスピーダーだから...あつちだ!」

ベストの色が

違うにもかかわらず

接触を試みる岩崎みなみ...

ゆたか「...大丈夫かな? みなみちゃん...」

自分よりもみなみを

思いやる小早川ゆたか...

だが、そこに...

ハンターだ...

ピ―――

ハンターが...

気づいた...

気づかれたのは...

ゆたか「...キヤー!..」

ゆたかだ...

ピ―――

走りだすが、遅かつた...

ゆたか「ああ!」

ボワン

小早川ゆたか 確保

残り20人

残り時間 72分40秒

ゆたか「みなみちゃん…ゴメンね…」

ピリリッシュピリリッシュピリリッシュ

律「うるさいってーもー！」

こなた「ゆーちゃん捕まつた！ゆーちゃん…」

みなみ「…」「メン」

襲い掛かる暗闇の恐怖と

ハンターの恐怖・・・

ゲームはまだ始まつたばかりだ・・・

MISSION 1 (1) (後書き)

ターボスピーダーは
アトラクションエリアの
絶叫マシーンの一つで、
園内で一番速いマシーンです。

ミッション考えるの
苦労しました。
実際やると
大変だらうなあ～

逃走者は無事にクリアできるのか?

MISSZONE(2)(前書き)

いつもよつ

長いです。

暗闇の中、

発光し続ける逃走者・・・

しかも、

解除には同じ色に光る者同士のカードキーが必要！

かなり難しいミッションはどう逃げるか？

MISSHOZI (2)

あやの「かなり捕まりやすくなつひやつた…」

レジヤー・ヒリアの

レストランストリートにいた峰岸あやの…

あやの「誰かいないかな…？」

だれか…

たまき「…あつ、光つてゐる…青色だ…ラッシュキー…」

いた…

あやの「いた…」

無事合流…

たまき「やつた…」

あやの「解除しましょー…」

カシャツ、パー

カシャツ、パー

峰岸あやの、山辺たまき

クリア

たまさ「よかつた…」

あやの「じゃあ、がんばってください。」

わかれの2人・・・

ペニコロッ

あやの「…びっくりした…」

電話だ・・・

あやの「おやぢゃんだ…」

シバ

みわお「あやの～、解除しようば～」

あやの「ゴメン。今しゃべりやつた…」

みわお「ええ～、マジかよ

あやの「…わかれの、その前に向かへ。」

みわお「向ひのやあ

あやの「光つてゐる色

みわお「縁だねど…」

あやの「わたし青だから、黒い元気じても無理じゃあ……」

みれお「…えつー…?」

あやの「…同じ色同士でやらないと意味がないって…」

ミッシュンを理解してない口下部みれお・・・

みれお「やつか…んじゅ。」

ペ
シ

みれお「…同じ色同士かあ」

先行き不安だ・・・

アトリアクションニア

急転直下付近にいた

田井中律・・・

律「ムギカ澪に聞いてみるか…」

ペ
シ
コ
リ
ッ

紬「電話…いつちやんから」

律「ムギカ・ミッシュン、ミッシュン」

紬「あ、はい。いつちやんは何色ですか?」

律「私は黄色」

紬「私もです！」

律「じゃあ、やひつぜ。」

紬「私は今メリー、ゴーランドの近くなのです。」

律「おっ、近い近い。」

紬「観覧車で会いません？」

律「オッケー！」

田井中律と解除しに観覧車に向かう琴吹紬
その近くに・・・
ハンター・・・

ペ-----

紬「……ひつじ……」

見つかった・・・

紬「……つーキャアー！」

暗闇で発光しているため、
振り切るのは容易ではない・・・

紬「キヤア！」

ボワン

琴吹紬 確保

残り19人

残り時間68分11秒

紬「…気付きました…真っ暗でわかりませんでした…」

ピリリッピリリッピリリッ

澪「ムギ捕まつた！」

みゆき「紬さんが捕まりました…」

律「！えつー？…ベストドッグさんの？」

振り出しだ…

グリーングリーンに

やつてきた平沢唯…

唯「誰かいなかなあ～」

和「あつ、光ってる。だれ？」

唯「いたつ。」

和「…唯！？」

唯「あつー・和ちゃんーー！」

和「しーつ。静かにして」

唯「ゴメンゴメン。ミシシキンやる。」

和「うん。」

カシャツ、ピー
カシャツ、ピー

平沢唯、真鍋和 クリア

唯「やつた！」

和「静かにしてって」

現在、青色のベストを
止めれないのは、
柊かがみのみ・・・

かがみ「誰かいないかな?」

自動的に柊かがみは

発光を止めるのは不可能となつた！

かがみ「つかさはどうしてるんだろ？」

その事をかがみは知らない・・・

アーラクシヨンヒリア
フリーザーボーンの近くに……

みゆき「泉さんと連絡を……」

高嶺みゆきだ……

♪フココロシ……

こなた「みゆきわざ?」

みゆき「泉さん解除しました?」

こなた「まだだよ。」

セレヒ……

みなみ「…みゆきさん。」

岩崎みなみだ……

2人とも赤色だ……

みゆき「あつ、すみません。後でまた……」

こなた「切られた……」

みゆき「みなみさん、カーデキー。」

みなみ「はい。」

カシャツ、ピー
カシャツ、ピー

高良みゆき、岩崎みなみ

クリア

みゆき「助かりました。」

みなみ「…いえ。」

みゆき「？」

先ほどの罪悪感があるようだ。・・・

電話を切られた泉こなたは・・・

こなた「みやまちにかけてみるか…」

ピココロッ

みやまち「おっ、ちびつ子だ。」

ピシ

みやまち「なに～？」

こなた「解除した? ベスト

みさお「まだ。」

こなた「あつ、ベスト何色?」

みさお「縁。」

こなた「じゃあ、ダメだ」

ピッ

みさお「…切りやがった」

こなた「いないなあ…」

セントラルエリア
パールキヤツスルに…

かがみ「ヤバい、ヤバい」

柊かがみだ…

かがみ「はやく解除しないと…」

だが、青色の光は
かがみ1人だけ…
解除はできない…

かがみ「周りも光ってる人いないし」

暗闇のため、
逃走者が光つてゐる場合見つけやすい。

ピ――――

しかし、それは・・・

ハンターにも見つかりやすいといふことだ・・・

ピ――――

ハンターに・・・

見つかつた・・・

かがみ「...電話しよ...う...イヤーッ...」

一目散に逃げるかがみ

だが、

かがみが逃げた先に・・・

別のハンター・・・

かがみ「イヤッ、二つとも!」

はさまれた・・・

かがみ「キヤツ!」

ボワン

柊かがみ 確保

残り18人

残り時間 66分23秒

かがみ「そんなん、解除できなかつたし、ハンターに見つかるし、
も～悔しい！」

つかさ「確保…お姉ちゃん捕まつかけた！」

こなた「かがみんも捕まつた…」

憂「どんどん捕まつてゐ…」

発光中に暗闇の中を
動くのは危険だが、
動かなければ発光を
解除できない！

そんな中、

澪「動けないよ～、だけど、動かないと解除できないし…」

未だ解除できていない澪…
まだ動いてなかつた…
と、そこに…

「うわー！いたつ、緑の光だ！」

澪と同じ色に光る
「うが通りかかった！」

澪「ーひつ、あつ、違う。ハンターじゃない。」

「いつ」解除—解除—

澪「はーっ—」

カシャツ、ピー^一
カシャツ、ピー^一

ハ坂こう、秋山澪 クリア

「う「あ～、助かった。ありがとう」「やーこます。」

澪「良がつた～（泣）」

「いつ」…泣かないで、泣かないで。」

澪「ありがと～（泣）」

「いつ」いえ、そんな。」

つかの間の安心から

泣き出す澪ヒ

うひたえるいつ・・・

「いつ」私はますから、こますから、泣かないでください。」
「いつ」私にますから、こますから、泣かないでください。」

「なた「みんなどこでるのかな？」

しづらく行動を共にするひとつだ・・・

逃走者を探しにターボスピーダーに来た泉こなた・・・

みゆき「泉さん?... 泉さん!」

こなた「ああ、みゆきさん!あれつ、解除したの?」

みゆき「はい、先ほどみなみさんと...」

こなた「みなみちゃんと余えたんだ~」

みゆき「泉さん電話を突然切つてしまつてすみませんでした...」

こなた「いいよ、いいよ。気にしてないし。」

みやお「ちびっ子~」

ひづらはかなり気にしてる・・・

みゆき「泉さん早く解除しないと、危ないですよ。」

こなた「だけど、誰にも会えなくてねえ... 赤色の人誰かわからない
し...」

みゆき「...じつは私たちも赤でした...」

こなた「ええ~, うわ~...」

みゆき「すみません…」

泉こなたと高良みゆきの
いる場所の反対側には・・・

梓「純と憂は、何色のベストかな?」

梓だ・・・

梓「近くにいないかな?」

近くにいる・・・

梓「純に電話しよ。」

ピリリリッ

梓「わっ、かかってきた。純からだ。」

ピッ

純「梓? ベスト何色?」

梓「赤だよ。」

純「…やつた。解除できる。今ビードル?」

梓「ター ボスピーダーの近く…」

純「急いでそつち行く。んじゅ。」

バジ

梓「あつといひ間に……話が進んじやつた。」

反対側にいる
泉こなたは、

こなた「じゃあ、あつちの方を探すから。」

みゆき「お氣をつけで」

こなた「じゃ～ね～」

こなたが進む先は
反対側・・・
つまり・・・
梓がいる場所だ・・・

梓「……あつ、赤色の光！」

ようやく気付いた・・・

こなた「誰かいた！」

梓「すいません、カードやりません?」

こなた「やうやう。」

梓「どうだ。」

カシャツ、ピー

こなた「やつた！はい。」

カシャツ、ピー

梓「よかつた。消えた。」

中野梓、泉こなた クリア

純「こゝはミラーワールドだから……」

梓がクリアしたため、
交換出来なくなつた純・・・
一足遅かつた・・・

その近くで、

いずみ「あつ、いた！」

いずみが純を発見した・・・

純「んつ？」

いずみ「カード！カード！」

純「いたいた。」

2人の近くに・・・
ハンターだ・・・

いづみ「はやくやりましょ」「う

純「うん。・・・ハンター！」

いづみ「！えつ！？」

ハンターも氣付いた・・・

いづみ「ヤバい！」

純「嘘でしょ！？」

一 手に分かれて逃げるいづみと純

ピ――――

ハンターが視界に捕えたのは・・・

いづみ「ー！」つち来たー！」

若瀬いづみだ・・・

いづみ「ああ～！」

ボワン

若瀬いづみ 確保

残り17人

残り時間 63分05秒

純「ハアツ、ハアツ…危なかつた…」

いすみ「嘘でしょー、悔しい…」

パーティ「イズミがツカまりまシタ。」

みなみ「捕まるペースが早い…」

つかさ「びつじょへ…はやく解除しないと…」

純「今チャンスだったのに…」

現在、
解除できていないのは

この二人…・

赤

鈴木純

黄色

柊つかさ

永森やまと

田井中律

緑

日下部みさお

パトリシア・マーティン

平沢
憂

この時点で
赤は鈴木純1人のため
解除出来なくなつた！
黄色と緑も
3人ずつのため
1人は解除出来ない！
逃げ切る事はできるのか！

MISSION 1 (2) (後書き)

パールキヤツスルは
セントラルエリアにある
シンボルとも言えるお城です。
普段は展望台として
つかわれています。

ミラーワールドは
アトラクションエリアの
室内アトラクションの一つです。
いわゆる、ミラーハウスです。

フリーザーボーンは
室内アトラクションの一つです。
大型冷凍庫並みの寒さを
誇る、夏季に大人気だが、冬はからつきしお…
中は幻想的な雰囲気に
包まれている。

ワイワイ広場は
イベントエリアにある
ヒーローショーが
行われたりする子ども向けの広場です。
(大きなステージもあります。)

アトラクション説明は

この辺で・・・

どんどん確保される

逃走者達・・・

解除できていない7人は

いつたいどうなつてしまふのか!

MISSION 1 (3) (前書き)

前回、後書きに
急転直下の説明を
忘れてました・・・

すみませんでした・・・

MISSION 1 (3)

現在、

解除できていないのは7人

赤は

鈴木純1人

黄色は

柊つかさ

永森やまと

田井中律の3人

緑は

日下部みさお

パトリシア・マーティン

平沢憂の3人

赤の鈴木純は

同じ色の人がないため

解除出来ない・・・

黄色と緑も

3人ずつのため

1人は解除出来ない・・・

ピリリッピリリッピリリッ

律「！何だよ！」

メールだ・・・

やまと「現在の状況?」

つかさ「『現在解除できていないのは7人。その者の名前と名前を載せた。』」

律「私たちの名前…あつ、これに載つてる人にかければいいんだ!」

純「…あれ?…もしかして、私解除出来ない?」

出来ない・・・

純「うそ〜〜」

うそでは・・・
ない・・・

つかさ「急がないと…やまとちゃんに…」

ピリコロリッ

やまと「電話…はい…」

律「解除まだですね。やりません?」

つかさ「…話し中?」

一足遅かつた・・・

やまと「…こじナビ…」

律「よつしゃー今ビーですか?」

やまと「パワースインガーの近く…」

律「じゃあ、そつち行きます…近くですから、すぐそこ

プツツ

やまと「…」うみたい。」

こつ「ハックション…」

澪「大丈夫ですか?」(泣)

噂された…

まだ泣いている…

つかさ「ええ~、もしかして、わたしだけになつちやつた?」

ピココリツ・

つかさ「…はうつ、びつくつした…電話?」

まだ解除できていない

田下部みさね…

みさお「やべえ、早くしなこと…」

ピリリリッ

パーティ「…ハイ。パーティです…」

みさお「カードやんね？まだ解除してねつからぞ。」

パーティ「あ～～…ジッは、せつせウイヒヤツヒシマヤマシタ。」

みさお「…えつ…？」

そう…・

通達のメールが来たとき…・

パーティ「?メール？」

憂「いたつ、すいません。」

パーティ「ハイ？オ～、ミドリの…」

憂「やりましょう？？」

パーティ「オーケイ。ど～ぞ」

憂「ありがとうございます。」

カシャツ、ピー

憂「私のカードです。」

パーティ「Thank you」

カシャツ、ピー

パトリシア・マーティン、平沢憂 クリア

パーティ「ヨカッタです~」

憂「そういうえば、さつきメール…」

パーティ「ワタシにも…」

憂「『現在解除できていないのは7人。』…えつ…？」

パーティ「オ…」

憂「みをおさん…まだ…縁1人になっちゃいました…ね…」

パーティ「ソーリイ…」

そして、今…

パーティ「というワケです…ソーリイ…」

ピッ

みをお「…じゃあ、解除は…？」

出来ない…

みさお「やべえ～（泣）」

アトラクションエリアの
パワースインガーに向かう

田井中律・・・

律「あつた！」

やまと「…來た。」

律「…あそこだ。」

無事に会えた・・・

律「よかつた！早くやりましょ～♪。」

やまと「待つて…」

律「えつ？」

やまと「メールでは黄色は残り3人よ…今ここには2人だけよ…」

律「はい…だから、1人出来なく「出来るわ…」」

律「えつ？」

やまと「…メールでは2人でやれとは言つてなかつたわ…」

律「はい…」

やまと「だから、3人でカードキーを交換しあえば1人も余らないわ…」

そう…・

じつはこのミッショーン

2人でやれとはいっていい
だから、やり方を工夫すれば
1人も余らないのだ！

律「！…あつたま良い…だとしたら、柊さんでしたっけ、すぐ連絡「もうしたわ…」…うそつ？」

やまと「あなたの電話のあとすぐに…つかさ先輩に電話したわ…」

律（すい）い、冷静だ。先を見てる…）

やまと「あとは、つかさ先輩がここまでくればいいだけよ…」

永森やまとから電話をもらつた柊つかさ…・・・

つかさ「えつと、パワースインガー…」…がター・ボスピーダーだか
ら…あつちだ。」

永森やまとと田井中律のいる
パワースインガーまでは
あと250m

ハンターに見つかれば
逃げ切るのは容易ではない！

つかさ「急がないと…急がないと…」

そんな、つかさの周りには
ハンター…・

つかさ「…大丈夫かな？」

建物の影の方に隠れたため
ばれてないようだ…・
ハンターは別の方向に向かつた！
しかし…・

つかさ「暗くて見えないよ。怖いよ…」

動けないようだ…・

やまと「…大丈夫かしら？」

律「大丈夫ですよ。」

やまと「…でも「信じましょー」…そうね」

つかさ「…いないかな？…行こう！」

パワースインガーまでは
もう少しだ…・

つかさ「…ハアツハアツ」

残り50m

つかさ「…ハアツ…ハアツ…ハアツ」

残り25m

律「…来たつ…」

やまと「…ほんと…」

つかさ「…ハアツ…ハアツ」

3人が会流できた…

律「やつたぜ…」

つかさ「ハアツ…良かつた…」

やまと「早くカードキーを…」

つかさ「はい…カードキー…」

カシャツ、ピー

律「よつしゃーほい、びいど。」

やまと「…ありがとう。」

カシャツ、パー

やまと「これで、大丈夫…」

つかさ「ありがとう。」

カシャツ、パー

柊つかさ、永森やまと、田井中律 クリア

つかさ「やつた、消えた。」

律「良かつたぜ～」

やまと「本当に…」

律「あの…ありがとうございます。」

やまと「?なにが…?」

律「だつて、3人でやれるとは思わなかつたから…私だつたら、2人でやつてたから…だけど、永森さんは誰も見捨てずに全員助けようとしたから…」

やまと「わ、私は別に…」

つかさ「本当にやつだよね。私もそつだつたよ～。やまとちゃんあ
りがと～」

やまと「べ、別にそんなつもりじゃ…わ、私はただ、3人でもできるな、と思つただけで…」

つかさ「ありがと~」

やまと「~~~~~も、もう行くから…」

やつ面つて離れるやまと…

つかさ「ああ~、こっちやつた…」

律「じゃあ、私達も…」

つかさ「やつだね。じゃあね。」

これで、

解除できていよいのは

2人だが・・・

同じ色同士ではないため
解除が出来ない！

純「暗くてハンターが見えないし、光ってるし、ビーハン…」

解除が出来ず途方にくれる

鈴木純・・・

みさお「…自首すつかな~?」

直首を考える

田下部みわお・・・

ピココシピココシピコシ

純「わっ、もうなに~」

メールだ・・・

みわお「通達?『解除出来なくなつた者に朗報。停電のとき、警備員が入口に落とし物をした。』えつ?純「それは、カードキー3枚。そのカードキーをつかえば、どの色に発光していても解除できる。』ほんと~!?

みわお「よっし。入口に急げ~!」

通達1

警備員が停電騒動で

カードキーを3枚落としていた。
そのカードキーをつかえば
どの色に発光していても
解除できる。

いま現在、

鈴木純は

セントラルエリア、

花時計付近に

日下部みさおは

アトラクションエリア、

パニッシュスプラッシュ付近にいる。

2人の入口までの距離は

そう遠くない。

2人にとっては

大チャンスだ・・・

しかし、

ハンターは神出鬼没・・・
どこから出でくるか
わからない・・・

みさお「あっちであっちでてんだよな・・・」

純「入口は・・・」

入口に向かう2人の逃走者・・・

しかし・・・

ピ――――

ハンター・・・

見つかったのは・・・

純「いらっしゃ……うそー！」

鈴木純だ・・・

純「イヤだー！」

それを目撃した

日下部みさお・・・

みさお「追つかれられてる・・・今のうちに」

その隙に

日下部みさおが
入口へ向かう！

純「やめてー！」

ピ―――

純「イヤッ！」

ボラン

鈴木純 確保

残り16人

残り時間60分11秒

純「ふえ〜ん・・・入口行けなかつた〜・・・」

みさお「着いた！カードキーは？あ、あつた！」

落ちてたカードキー入手！

カシャツ、ピー

田下部みさお クリア

みさお「ハア～やつたぜ。」

これで、

逃走者全員が
発光を止めた・・・

こなた「停電つていつ復旧するのかな？」

それは誰にもわからない・・・

憂「真っ暗だから、闇に紛れるからいいなあ。」

完全な暗闇のため

逃走者にはつかの間の休息だ・・・

その一方で牢獄では・・・

MISSZONE (3) (後書き)

急転直下は

アトラクションエリアにある絶叫マシーンの一つ。
寝そべった状態から発車し
頭の方向に急発進し、

あとはフリー ホールのように上昇して急下降する。

パニックスプラッシュは

アトラクションエリアにある絶叫マシーンの一つ。

水しぶきがすごい、

唯一の水系アトラクション

パワースインガーは

アトラクションエリアにある乗り物系アトラクション。

遠心力を利用した乗り物である。掛け声は『レッツ、スイ～ング！』

アトラクション説明は

ここまで・・・

まさか・・・

リリカルショーバイさんがからくりを解いてしまうとは・・・
結構考えたのに・・・

だが、まだまだ！

小説はまだ序盤です！
どんどんいくぞー！

最後に皆さん

こんな小説に感想を
書いてくださつて
ありがとうございます。

次回は
牢獄DEトークです。
お楽しみに〜

牢獄DEトーク（前書き）

バイトが忙しいなあ・・・
けど、出来ました！

牢獄の人たちの会話

牢獄DEアーティク

セントラルヒリア、女神の噴水近くに設置された牢獄では・・・

いづみ「メールが来なことこのことま、みんなミッションクリアしてるんですね～あの暗闇の中を…」

純「それに比べて私たちね…」

かがみ「言わないでよ…（泣）ああ～、悔しいなあ～

みぐ「そつちはまだいいですよ…私は暗くなる前に捕まりましたよ
みぐり」

ひより「まだいいですよ。私は始まつてすぐ捕まつたんですから～

（泣）

いづみ「私はもう少ししゃべせてみたいなあ～…」

純「ミッションクリアできましたよねえ～…」

かがみ「田下部もクリアしたのよね、きっと

いづみ「？意外何ですか？」

かがみ「ちやんと内容を理解していたかどうかよ。」

みやみ「へックショイー...ハンターいねーよな?」

みぐ(こまくシャミがき)えたよつな氣が...)

かがみ「まあ峰岸に聞いたりしたか、教えてもらつたかしたでしょ
うね。」

紬「...あの...?」

ゆたか「どうしたんですか?」

紬「...先ほじから疑問に思つてはいたのですが...こつまで真つ暗のま
まなのでしょうか...?」

ゆたか「...やうこえば...やうですね。」

かがみ「ずっと真つ暗...なわけないわね。」

その頃、

警備員たちは

停電の原因を探るために
電源装置を調査していた・・・

牢獄DEマーク（後書き）

ミッションはクリア・・・
しかし、未だ復旧してない照明・・・
そんなとき新たな異変とミッションが続けざまに起こる！

～後悔の涙～遊園地の事件～（前書き）

3年前なにが起きたのか・・・
少しだけ触れます・・・

いひこの話です・・・

～後悔の涙～遊園地の事件～

管理室にある電源盤の部屋では、停電の原因を探る

警備員とチエリストの佐竹がいた。

佐竹「…どうですか？」

警備員「…おかしいなあ…同じもおかしくない…」

佐竹「…それって？」

警備員「見たかぎり原因がないです…正常な元、異常事態が起つてます…いつたいなぜ？」

佐竹「…まさか、あいつが…？」

警備員「あいつ？」

佐竹「聞こえたんです。あの時、泰の声が…」

警備員「泰つて…まさか、3年前の…？」

佐竹「ええ。」

警備員「そんなまさか、だつてその方は…」

佐竹「亡くなつてます…3年前に…」

そう、

それは3年前のことだった・・・
4人の音楽家による
コンサートがあつた。

しかし、

それは突如起こつた事件によつて壊されてしまい、
4人によるコンサートは
永久に開催出来なくなつてしまつた・・・

その事件とは

コンサート出演者の
フルート奏者の女性が
不慮の事故で亡くなつたこと。
しかし、

事件はそれで終わらず
ピアノ奏者の男性と、
バイオリン奏者の女性も
相次いで亡くなつたのだ。
連續で人が亡くなつたため

殺人ではないかと思われたが、証拠もなかつたため事故で処理され
たのだ・・・

警備員「... 奏さんはそのときに亡くなつたバイオニストの方でし
たね...」

佐竹「ええ。」

警備員「...あの事件は本当にただの事故...だったんですか?」

佐竹「…事故でした。…奏以外は…」

警備員「えつ…それっていつたい?」

佐竹「!はなしが脱線しましたね…今はそれより、はやく停電をなんとかしよう。」

警備員「あ…はい…」

(佐竹さん…何か隠してる…)

ミユージックホール内、

奏「クスン…クスン…」

悲しみにくれる奏の姿があつた…・・・

奏「『めんなさい…』『めんなさい…』

誰かに謝るかのように

謝罪の言葉をつぶやく奏…・・・

そして、

園内に設置された

封印されたハンターボックスが6つ…・・・

ピ―――! カシャン!

ハンターボックスに

電源が入った!

悲しみに包まれた彼女の想いと念が

逃走者に新たな試練として

立ちはだかる・・・

～後悔の涙～遊園地の事件～（後書き）

新たなミッションが始まる！

逃走者に安息の時間はない・・・

MISSION 2 (1) (前書き)

奏の後悔の念が
ミッションとなつて
逃走者に立ちはだかる . . .

MISSHON2(1)

ピココッシュピココッシュピリオッ

みさお「…あつあつ…びっくりした！何だ？」

メールだ・・・

みさお「『MISSHON2』…？早くね？」

律「『エリア内6ヶ所にハンターボックスを設置した。』6ヶ所！」

やまと「…多いわね。『時限装置に電源が入ったため』」

和「『残り45分になると扉が開放され、ハンターがエリア内に放
出される。』」

唯「6体も…？」

あやの「『阻止するにはボックスの横にあるスイッチをオフにしな
ければならない。』」

みゆき「『なお、ハンターボックスの場所は、それぞれ』」

憂「『超迷宮、フリーザーゾーン』」

1J「『恐怖の館、ワイワイ広場』」

みさお「レストラン…オ、オセアン?」

パーティ「『レストランオーシャン、パールキャッスルの』」

こなた「『6ヶ所だ。』バラバラだあ~」

梓「『急ぎたまえ。』えつ、暗いから時間かかるつて…」

みなみ「…」

つかさ「ええ~、怖いよ~」

MISSION 2

ハンター放出を阻止せよ!

エリア内6ヶ所に

仕掛けられたハンターボックスの時限装置のスイッチが入つてしまつた。

残り45分になると、

ボックスが開放され

ハンターがエリアに放出される。

阻止するには、

ハンターボックスの横にあるスイッチをオフにしなければならない。

ハンターボックスは

超迷宮

フリー ザーボーン

恐怖の館

ワイワイ広場

パールキヤッスル

レストランオーシャンに
存在する。

そして、

この6ヶ所のみ建物内に
入ることができる。

いま現在、

残り時間57分45秒

およそ12分後に

扉が開放されてしまつ。

つかさ「6体出て来たら、絶対捕まつちやうよ~」

ハンターの数におびえる

柊つかさ・・・

つかさ「レジデンスの前はメリー・パークンズでしょ、リバー
ールドはまつき通つたから……あつ……」

何かに気付いた・・・

つかさ「もしかして、リバーフローザーン?」

その通りだ・・・

つかさ「じゃあ、行かなきゃ・・・」

しかし・・・

このときすでに

奏はミュージックホールから、パールキャッスルに移動していた・・・

奏のこの行動が
ミッションを

更に過酷なものにしてしまったことを誰も知らない・・・

MISSION 2 (1) (後書き)

ミッションが過酷になつた?

それは一体どうしたことなのか・・・

MISSION 2 (2) (前書き)

更に過酷になつたミッションに逃走者はどう擰む！

MISSION 2 (2)

偶然、
フリー・ザーゾーンにいた
柊つかさ・・・

つかさ「...寒い...」

-10度の寒さが彼女を襲う・・・

つかさ「うう~、ハンター・ボックスどこ?」

そして、
他の逃走者も・・・

やまと「...超迷宮に行つてみますか。」

律「よ~し、ここからだと...レストランに行くか。」

ミッションに挑む・・・

恐怖の館付近に・・・

「う~」...あの~?」

澪「なに? (泣)」

まだ泣いてた澪と共に行動してたこうだ・・・
偶然にもハンター・ボックスに近い場所にいた・・・

「……ハンターボックスがあるみたいなんですね」

澪「……」

「恐怖の館」

澪「いやつー絶対行かない！」

「だから、一人で「離れないで！」」

「……どうしよう。」

ミッションに行けない……

つかさ「あ、あつた！」

ハンターボックスを見つけたようだ……

つかさ「これだね。」

カシャン！

つかさ「よかつた……」

封印され……

ピ―――！カシャン！

つかせ「…えええつー?」

なかつた・・・

つかせ「じうなつてゐるの? オフにしてもオンになつちやつ。」

パークになる終つかせ・・・

つかせ「じうじう…じうじう…じうだ。」

ペニコロッ

やまと「…はー?」

つかせ「じうじう…スイッチが、スイッチがオフにならなくてオ
ンになつちやつよ。」

やまと「…落ち着いてください。じうじうとななんですか?」

つかせ「あ、あのね。…ちよつと待つて、寒くない所に移動する…

やまと「…え?…フローザーボーンにこるんですか?」

つかせ「やうなの。…」(1)はあまり寒くないね。あのね、ハンターボックスを見つけたからオフにしたのに、すぐオンになつちゃうの

やまと「すぐオンに…?え?なぜですか?」

つかせ「わかんないよ。」

やまと「…あの、」

つかさ「…ふう？」

やまと「ハンターボックス調べてもいいですか？」

つかさ「ええ、なんで？」

やまと「もしかしたら、何か別の仕掛けがあるのかもしれません。
お願ひします。ハンターボックスを…」

つかさ「わかった。」

再び、ハンターボックスの場所に向かつぶつかさ…

つかさ「着いたよ。」

やまと「何かありましたか？変わったものとか？」

つかさ「…ええと…あつ…」

やまと「ありましたか？」

つかさ「横に…。〇・4つて書いてある…」

やまと「…もしかして」

つかさ「え？」

やまと「順番通りにオフにしないといけないんじゅ…」

つかさ「順番通りーー?」

そう、
奏がミニユージックホールからパールキャッシュルまで移動したため、
悲しみの念が更に加わりハンター・ボックスに順番がついてしまった
のだ!

ハンター・ボックスの順番は

- No.1 ワイワイ広場
- No.2 恐怖の館
- No.3 超迷宮
- No.4 フリー・ザーボーン
- No.5 レストラン・オーシャン
- No.6 パールキャッシュル

の順番になってしまったため、番号順にオフにしないと元に戻つてしまつ!

そして、逃走者はどこが何番かも順番になつてゐることも知らない!

つかさ「4番だから…」

やまと「その前の3つのハンター・ボックスをオフにしないとダメね
…」

つかさ「ええー」

やまと「…私は超迷宮に向かいます。」

つかさ「えつ？」

やまと「つかさ先輩はほかのみんなにこの事を言つてください。いま私、超迷宮に近いのでひょっとしたら、早い番号しれないのになのでお願いします！」

ヅ

つかさ「やまとひやん…よし…とつあえず、寒くない所に移動しないと…」

一方その頃、

N・O・Iのハンターボックスがあるワイワイ広場付近には・・・

唯「どこかな？」

和「あれじやない？」

唯と和だ・・・

ワイワイ広場の
ハンターボックスは
ステージの中央だ・・・

唯「…あつた。」

和「これね。」

カシャン！

N O . 1 封印・・・

これにより、N O . 2 の
ハンターボックスがオフにできるようになった・・・

ピリリリッ

唯「んつ? 電話だ…」

ペ
ッ

唯「はい?」

つかさ「もしもし。終つかさです。」

唯「平沢唯です。」

つかさ「あのハンターボックスなんですか?」

唯「ああ、一個解除しましたよ。」

つかさ「ええ、本当!」?

唯「? はい。」

つかさ「オフからオンにもどつたりしてませんか?」

唯「? 大丈夫ですよ。」

和「? かわるうか? もしもし、 真鍋和です。どうしたんですか?」

つかさ「あ、もしもし。じつは、順番通りにハンター・ボックスのスイッチをオフにしないとダメみたいで。それを伝えようと思つて…」

和「ええ！ それ本当ですか？」

つかさ「うふ。ハンター・ボックスに番号があるはずですが…」

和「…本当だわ。二〇・一って書いてある。なるほど…だから、オフにできたんだ。わかりました。みんなにも気をつけるように言います。」

つかさ「ありがとう。それじゃあ、気をつけ～」

ピッ

唯「何だったの？」

和「Jの//シジョンが難しことについたことを教えてくれたわ。」

唯「？」

レジヤー・ヒリア

レストランストリートを田指す田井中律・・・

律「オーシャンつい…ビーだ？」

そこにいたのは・・・

あやの「…誰？」

峰岸あやの「…」

律「田井中律です。」

あやの「よかつたあ。ハンタージャンヘ…」

律「あ、オーシャンツーピードuka?」

あやの「私も向かってるの。一緒に行きませんか？」

律「はい。」

あやのと会流し、

レストランオーシャンに向かう。
が、ハンター・ボックスのナンバーは5。
まだオフにできない…

恐怖の館にいる

「うひふ…」

「うひ「あの…」のままだと、ハンターがふえぢやうんですが…」

澪「…うん。でも…」

まだ、中に入つてなかつた…
そこに現れたのは…

梓「！に、やつ！？」

澪「…ひつ…！」

「うひ…うわつ…！」

中野梓だ・・・

梓「び、びっくつした…」

「うひ…うひ、うひたちのセリフだつて…」

澪「…」

梓「…！澪先輩！大丈夫ですか？」

澪「…だ…大…丈…夫…」

には見えない・・・

梓「あれ？」ですよね？恐怖の館つて

「う「「そうだよ。」

梓「なんで入らないんですか？」

「う「いや、入りたいんだけど…」

澪「は、入るよ！」

「うへ「えつーー。」

澪「は、早く行け。」

梓「わかりましたけど、押されないでください。」

「うつ「…ま、いつか。」

後輩が来て情けない姿を見られたくないようだ・・・

超迷宮に着いた永森やまと・・・

やまと「…やまとか、中にあるんじや?」

その通り・・・

やまと「ええー?時間かか…あ、あつた。」

入り口のすぐそばだが・・・

やまと「…ゾ・・・スイッチをやってみないと…」

だが、Z・2のボックスはまだオフになっていない・・・

カシャン!

ペーーー!

カシャン！

やまと「ダメ…戻った。まだオフになつてない。」

現在、

オフになつている

ハンター ボックスは

1つだけ・・・

このままだと、

ハンターが5体放出されてしまつ・・・

残り45分まであと9分・・・

逃走者達の運命は？

MISSION 2 (2) (後書き)

超迷宮は

アトラクションエリアにある迷路です。
階段も多く広いため
なかなか出れない・・・
タイムアタックがあり
上位の人には商品が
プレゼントされる。

ハンターボックスに

順番という仕掛けが追加され過酷になるマジックショウ・・・
逃走者達はどう切り抜けるのか？

MISSION 2 (3) (前書き)

過酷になつたミッション...
ハンター ボックス残り5つ
残り45分までに
電源をオフに出来るのか?

MSSHONZ 2 (3)

恐怖の館に入る中野梓、秋山澪、八坂こう・・・

梓 うわ、怖い

澪「ハ、ハ、ハンターボックスは、ど、どこ？」

「うむ、奥じやないですか？」

おひえる梓と遷

超迷宮にいる永森やまと・・・

「…」。ひかりは黙って立った。

ピリリッシュ

ପାତା ୧୮

梓一にせつ！！！

漆

電器...」

ピッ

やまと「もしも『どうへい』じゃなかったら…」「…」

やまと「…?…急になに?」

やまと「…まだつかのせいつだよつー何なのー?」

やまと「…今どう?」

やまと「恐怖の館ー!」

やまと（だからびっくりしたのか…）「じゃあ、ちょうどいいわ。ハンター・ボックスなんだけど、一から順にやらないと意味がないみたいなの…」

やまと「…えー?」やまと、「聞いてなによー?」

やまと「メールで知りされてない」とが起つてゐみたい…そつちは何番?」

やまと「まだ見てない。ハンター・ボックス見たら教えるから。」

やまと「…わかった。」

やまと

やまと「電話中に梓と澪は…」

やまと「もつ、このタイミングで電話鳴りすくなつて…あれ?」

梓「…澪先輩…勝手に外出がやつていいんですか?」

澪「怖い怖い怖い怖い怖い…」

館の外に出た…

「…おこでへじなこの」…」

仕方なく一人で探索…

「…あつた…えつと、ノ。・2か。…やつていこよね。」

カシャーン!

ノ。・2封印・

「…よこ。そじや、やまと…」

ペニコロッ

シバ

やまと「…どうだった?」

「…オフになつたよ。ノ。・2だつた。」

やまと「…わかつたわ。…ありがとい。」

ペニ

「あつ、切つた。」

やまと「たぶんこれで…」

カシャン！

Ｚ〇・3封印・・・

やまと「…やつぱり。これでつかさ先輩も大丈夫のはず…電話を…」

ピココリッ

ピッ

つかさ「やまとちやん？」

やまと「つかさ先輩…Ｚ〇・3、オフに出来ました。そっちも大丈夫のはずです。」

つかさ「わかつた。やつてみる。」

ハンターボックスに戻るつかさ・・・

つかさ「せ～の〜」

カシャン！

Ｚ〇・4封印・・・

つかさ「…やつたー出来たよ。」

やまと「…良かつた。」

つかせ「やまとちゃん。また助けてくれてありがとう~」「やまと「…えつ、あのつ、や、『氣をつけてくださいね。』

バジ

つかせ「切れちゃった…寒こから卑く丑よつ…」

これでハンター ボックスを4つオフにできた…

残りは2つ…

レストランに向かうあやのと律…

あやの「この辺のはずだけど…」

律「似たような建物が多くてわからぬ~」

迷っていた…

その近くにハンター…

律「え～～ビ…！？ハンターこます。」

あやの「えつ…？」

しかし、ハンターは気付いてない・・・

律「……気付いてないみたいですね。」

あやの「暗いから、隠れられるしね。」

その近くに・・・

たまき「危ない危ない。」

たまきもいた・・・

たまき「2人いるな、ミッションはこいつ。」

ミッションには参加しないようだ・・・

レジヤーノリアのショップで同じよう隠れる・・・

みさお「ハンターいねーな。」

田下部みさお・・・

みさお「ミッション…誰かやるよなあ、ひびっ子とか
こなた「…みさおひなうりつてるでしょ。」

そのひびっ子も・・・

他人まかせ・・・

みゆき「フコーザーボーン」「…」

ミッションに向かう

高良みゆき・・・

だが、フリーザーボーンはすでに終つかさがクリアした・・・

観覧車に隠れてる平沢憂・・・

憂「行かなきゃ…けど…」

動けない・・・

未だフリーザーボーンにいる終つかさ・・・

つかさ「電話しないと…」

ハンター・ボックスに関する情報をほかの逃走者に伝えるために電話をするつかさ・・・
かけた相手は・・・

ピリリリッ

律「…びっくりした…」

律だ・・・

ピッ

律「なんだよー。」

つかさ「ふえーうー。？」

律「あつ…すいません。終さん…びひじたんですか?」

あやの「?ひーちゃんから?」

つかさ「あつ、あのね、ハンターボックスに順番があつて…」

律「はい?」

つかさ「順番通りにオフにしないとダメなんだって…」

律「…えつ、そなんですか!?」

つかさ「でね、いま4つ皿をオフにできたの。」

律「…」ことは次は5つめですか?」

つかさ「たぶん。いまね。フリー ザーボーンと超迷宮のボックスが
ね。」

律「クリアしたんですか?」

つかさ「うん。」

律「じゃあ…めんなさい。」

つかさ「あれっ！？大丈夫かな？」

律「……ヤバイ。また来た。」

あやの「……」

ハンターが律とあやのに接近・・・

律「……」

あやの「……」

・・・・・

見つからなかつたようだ・・・

律「……ふう～」

あやの「……危なかつた～」

つかさ「大丈夫かな～？」

ガチャッ！～！

つかさ「はうつ～！」

みゆき「～～」

みゆめだ・・・

つかね「おれがやる...びっくりしたよ〜」

みゆめ「おまえさん...」

つかね「どうしたの?」

みゆめ「ハンターボックスのミシシッパを運んで...つかねも
んがいるからしあわせだったといひ」とせ...」

つかね「うさ。 もうオフにしたといい。」

みゆめ「もうひとつ...」

セント・・

超迷廻し・・・

みなみ「...あつた。」

折崎みなみだ・・・

みなみ「...」のせいで?..

やまと「...誰か来たー。」

迷廻の中に隠れるやまと・・・

みなみ「…あつ、クリア…している…」

やまと「…良かった…あの～」

みなみ「…あつ」

やまと「こまわりをやつました。」

みなみ「やつですか。」

静かな2人が出会つた…

律「…あつた…」」「だ！」

あやの「やつた！」

よひやくレストランオーシャンを見つけた律とあやの…

カチャツ
キーッ

律「あつた。」

あやの「ハンターが来ないか見てます。今のところ…」

律「はい。けど、順番ついで言つてたからなあ…あつ、二〇・五だ。
オフに出来る。」

カシャン！

N O . 5 封印 . . .

律「やつた！やりましたよ。」

バンッバンッバンッ

律「！何！？」

あやの「外が……」

突然響いた音・・・

残り45分まであと4分
一体なにが起きたのか？

MISSION 2 (3) (後書き)

突然響いた音の正体はいったい？

MISSION 2 (4) (前書き)

エリアに響いた音・・・

これが、

ありえない事態へと陥ってしまう・・・

MISSION 2 (4)

バンッバンッバンッ

律「…何！？」

あやの「外が…」

突然響いた音…

この音の正体とは…

時はずこじかのぼる…

管理室の電源盤の部屋で、

警備員「…こだ…コードが入れ替わってたのか…」

そう…

まさに5つ目の

ボックスの電源を

オフにしたのとほぼ同時に…

警備員「よしつ、これで。」

ガチャン！

バンッバンッバンッ

「」の前と同時に・・・

あやの「外が…明るくなつた…」

律「うそつ…」

照明が復旧した…

これが波乱のはじまりだつた…

バンッバンッバンッ

こなた「…なに…?」

みさお「…なんだ…?」

みなみ「…」

やまと「…えつ…?なこ…?」

つかさ「…はうつ…」

みゆき「…何ですか…?」

パーティ「…What…?」

「」の前と同時に・・・

たまき「…明るくなつた…？」

唯「…わつ…？」

和「…うそつ…？」

澪「…ひつ…？な、なに…？」

梓「…電氣ついた！」

憂「…えつ…？どうして…？」

牢獄でも…・・・

牢獄全員「…わつ…？」

かがみ「…なんで急に電氣が…？」

ゆたか「突然すぎますよ…」

メールだ…・・・

ピココツピココツピココツ

たまき「何?『通達2』…？」

やまと「『警備員が電気の復旧に成功した。』」「

「『そのため、これより照明がついた状態で』」

こなた「『ゲームを行う。』！？」

みさお「ヤバイじゃん！」

通達2

警備員が照明の復旧に
成功したため、

これより照明がついた状態でゲームを行う。

この騒動で

パニックが起るー

ワイワイ広場にいた唯と和の近くに・・・

唯「ええー、どうしようーー？」

和「落ち着きなさい、唯

ハンター・・・

明るくなつたせいで・・・
見つかった・・・

ピ――――

和「……ハンター！」

唯「キヤツ！－！」

ハンターが視界に捕らえたのは……

唯「ヤ――！」

唯だ・・・

唯「イヤツ！」

ボワン

平沢唯 確保

残り15人

残り時間48分47秒

レジヤーエリア、

レストランストリートでは・・・

たまき「うそでしょ！急すぎるとつて！」

たまきの近くに・・・

ピ―――

ハンター・・・

たまき「ヤバイって……」

ピ―――

たまき「ヤバ…！イヤ～！…」

見つかった・・・

たまき「イヤ～！」

ボラン

山辺たまき 確保

残り14人

残り時間48分45秒

恐怖の館から逃げた澪と梓・・・

梓「澪先輩！ここイベントエリアの近くですよー。もどりましょうよ。

」

澪「もういや～（泣）」

2人の近くに唯を確保し、
和を見失ったハンター・・・

――――――

見つかった・・・

梓「！！ハンター来たー！」

澪「えっ！」

ドシャツ

澪「…いたい～」

こけた・・・

ボワン

秋山澪 確保

残り13人

残り時間48分28秒

たまきのすぐ近くに・・・

みさお「やべえ～

田下部みさおだ・・・

そして、もう1人・・・

こなた「ええ～！」

泉こなただ・・・

更に、

別のハンター・・・

こなた「ヤバイ、こっちに・・・」

たまきを確保したハンターが・・・

ヒ

こなたに気付いた・・・

こなた一・うわ二・

おわせ - 一・七・八・二・一・

別の方に向ふみさお

九
九

卷之三

卷之三

卷之三

二〇

「人た鉢合れ七・・・

田部はいた
黒川かくわ
磯作

残り時間 48分24秒

「ええ～っ！捕まっちゃった～（泣）」

たまき「もう明るくなつたからばれたじゃん！」

澪「腰抜けた・・・（泣）」

みさお「いつて～し、捕まるし、もーーつ！」

こなた「みさきちにぶつからなきや・・・」

一気に5人確保・・・

ピリリッピリリッピリリッ

梓「ええっ！.. 5人も確保！？ 澪先輩も捕まつた！」

和「唯捕まつた！ 明るくなつてすぐに！」

憂「お姉ちゃん！！」

牢獄でも・・・

かがみ「...！ええ～～つ～！」

純「?どうしました？」

かがみ「... 一気に5人捕まつた！」

かがみ以外の牢獄「ええ～～つ～！」

ひより「だれが捕まつたんですか？」

かがみ「平沢唯、山辺たまき、秋山澪、日下部みさお、泉こなた…」

ひより「ええっ、なんで?」

みく「あとまつて近くにいたとか?」

いすみ「3人がかり…とかでしょうか?」

かがみ「これヤバイんじゃないの?」

たまき、みさお、こなたの確保シーンを建物から間近で見た…

律「…い、一気に…」

あやの「みせちりやんが…」

律とあやのだ…

まだ2人の近くにはハンターが2体…

律「しばしばここにましょいっ!」

あやの「…(「ク「ク)」

動けない…

5人の確保を知ったつかさとみゆき…

みかさ「…ゆきちゃん…（泣）」

みゆき「大変なことになりましたね。」

こちらも動けない…

ハンターボックスはあと一つ…

しかし、5人の確保で誰も動かない…

1人をのぞいて…

MISSION 2 (4) (後書き)

一気に5人確保・・・

おびえずにミッションに挑む勇者はいったい誰か？

MISSION 2 (5) (前書き)

照明の復旧をきっかけに、
ハンター3体によって5人が確保された・・・
その影響で、
逃走者は動くに動けなくなつた・・・

MISSION 2 (5)

残るハンター・ボックスは
あと一つだけ……

残り時間45分までおよそ3分……

果たして、

ミッションクリアなるか？

ミッションに誰も……

パーティ「……」

憂「行けない……行けないよ……」

動かない……

そんな中一人、ミッションに向かう者がいた……

梓「あごのボックスにいけばいいの？」

梓だ……

梓「憂、知ってるかな？」

ピリリリッ

憂「！わっ！？：梓ちゃん？」

ピッ

憂「もしもし？」

梓「憂？ ハンターボックスってあとどこやつてないか、知ってる？」

憂「えつ、わかんない!」

梓「わかつた。じゃあね。」

ピツ

梓「律先輩はどうだろ?」

ピリリッシュ

律「！！わつ！」

ピツ

律「なんだよ！！」

梓「！」やつ！？」

律「梓か？」

梓「は、はい。あのハンターボックス…」

律「やつたよ。レストラン。」

梓「あとやつた所知っていますか？」

律「あと？ 知らな…待って。」

先ほどのこと…

つかさ『フリー・ザーボーンと超迷宮もクリアしてるはず…ボックスはあ

律『クリアしたんですか？』

律「フリー・ザーボーンと超迷宮もクリアしてるはず…ボックスはあと一つだ。」

梓「わかりました。ありがとうございます。」

ピッ

これで梓の知る情報は

5つのハンター・ボックスがクリア

恐怖の館にこうが行つたこと

そして、フリー・ザーボーンと超迷宮、
レストランオーシャンのボックスがクリアしたことだ…

梓「…もう時間がない。」

残り45分まであと2分・・・

梓「一か八が、行こう！」

梓が向かうのは・・・

梓「ここから近い・・・パールキャッスル！！」

残るハンター・ボックスは、パールキャッスルのみ・・・
果たして、間に合うのか？

MISSION 2 (5) (後書き)

パールキヤツスルに向かう梓・・・
彼女の運命は・・・?

MISSION 2 (6) (前書き)

パールキヤッスルに向かっているのは中野梓ただ1人・・・
果たして、
間に合うのか・・・

MISSION 2 (6)

梓「もう迷ってる時間ない！」

パールキヤッスルに向かう梓・・・

ハンターボックスはあと一つ！

和「…誰かやつてるのを信じるしかない。」

やまと「…もう誰かやつてる」とを信じないと……」

律「…梓頼むぞ～」

梓「着いた！」

パールキヤッスルにたどり着いた！

梓「ボックスどこ？」

残り1分・・・

梓「どこ？」

つかさ「あと一分だよ」

みゆき「…大丈夫でしょうか？」

梓「見つかんない！？ もしかして、上！？」

残り30秒…

梓「…！あつた！」

見つけた！

あと15秒…

梓「スイッチ…」

10

梓「ビ…？」

9

梓「あつた！」

8

梓「せ～のつ」

7

カシャン！

N O . 6 封印 . . .

梓「…………良かつた…………」

ミッションクリア

ペココッピココッピコッ

あやの『ミッションの結果…ミッションクリア…』

律「梓やつたら～！」

やまと「『平沢唯、八坂』いう、永森やまと、柊つかさ、田井中律、中野梓の活躍により、6つのハンター、ボックスは再び封印された。』

…。

牢獄でも……

かがみ「す」に全部封印された！」

全員「え～～～！～！」

紬「唯ちゃんもやつてたんだ！？」

唯「えへへ。」

かがみ「…………そつちの4人は？」

4人「.....」

かがみ「人まかせか.....」

パーティ「イヤア、すごイです。」

グリーングリーンに隠れるパトリシアことパーティ・・・
同じく近くにいたのは・・・

和「.....」

和だ・・・

和「...移動しようかな?」

移動する和に対し、

パーティ「ここにイレバダイジョーブです。」

隠れ続けるパーティ・・・

和「...とりあえず、アトラクションエリアに...! イヤアーーー!」

ハンターだ・・・

和の逃げる先に・・・

パーティ「...NO!」

パーティだ・・・

和「！－あつ・・・」

ボワン

真鍋和 確保

残り10人

残り時間 41分12秒

和を確保したハンターがパーティを見つけた！

パーティ「イヤ～ツ！」

ボワン

パトリシア・マーテイン 確保

残り9人

残り時間 41分02秒

パーティ「ウゴけばヨカッタです～」

和「：隠れてたら良かつた・・・」

2人とも裏目にでた・・・

かがみ「！あつ、真鍋和、パトリシア・マーテイン確保！」

牢獄全員「え／＼／＼／＼／＼／＼！」

唯「和ちゃんも捕まっちゃった！」

ゆたか「パーティちゃんも捕まっちゃった・・・」

ひより「捕まるペース早くないですか?」

ピココシピコロッピコッ

メールだ・・・

梓「『ミシシヨンが終了したため、これより先ほどの6ヶ所に入る
ことを禁止とする。』じゃあ、出ないと…」

つかせ「ええ~」

みゆき「仕方ないですわ。」

やまと「…じゃあ、出ましょうか。」

みなみ「…はい。」

建物から出る逃走者たち・・・

残り9人

時間はよつやく半分になつた・・・

時はすこしづかのぼる
警備員たちは・・・

警備員「これで大丈夫です。」

佐竹「…ええ。」

警備員「…あの?」

佐竹「はい?」

警備員「部外者の僕が言つのもあれですけど…3年前の事件で何があつたんですか?」

佐竹「えつー?」

警備員「ただの事件ではないのはなんとなく感じてました。園内でこんなトラブルも初めてですし、佐竹さんもおかしいです。」

佐竹「…」

警備員「教えていただけませんか?」

「…」
「めんなさー」

佐竹「…奏ー?」

警備員「…今の声が?」

あわてて外に出る佐竹…

警備員「…待ってください!…佐竹さん!…」

佐竹が向かつたのは
パールキヤッスル・・・
そこで待ち受けることは
・・・?
.

MISSION 2 (6) (後書き)

ドラマも核心に迫ります！
そして、じつなる逃走中！

～答えと新たな謎～遊園地の事件～（前書き）

真相に近づきつつあるかも・・・

（答えと新たな謎／遊園地の事件）

パールキヤツスルに向かう佐竹と警備員・・・

・・・クスン・・・クスン

奏「「めんなさい」…」「めんなさい」…」

パールキヤツスルの展望台に奏はいた・・・

佐竹「ハアツハアツ…奏！」

奏「！」

佐竹「…奏！」

警備員「あの人ガ…」

奏「…雄くん…」

佐竹「そうだ！雄太郎だ。」

奏「…どうして…？」

佐竹「明日…もう今日か…演奏会なんだ。」

奏「そう…なんだ…」

佐竹「奏…なんで泣いてるんだ？」

奏「…私が悪いの…私のせいだ…響が…」

警備員「響？つてまさか？」

佐竹「……3年前に事故で亡くなつた僕の友達です。」

警備員「やつぱり…」

奏一ちがう…」

警備員 - ?

奏 - 事故じやない私のせいで響は

佐竹一亡くなつた

奏
—
！
」

佐竹一
たから
お前に
自殺した

警備員 - !!!自殺！？

佐竹　もう泣くな奏　あいつは

奏……私のせいよ。私が……フルートを隠したから響が……」

「... ? ? - ... 雖然不是...」

警備員「！今の声は！？」

奏「一響！？いやつ、許してーー！」

ふつ・・・

警備員「消えた・・・」

佐竹「つー奏！…響ちゃん…？」

警備員「ええつー？」

佐竹「…あいつ、探してるんだ…大事なフルートを…」

警備員「フルート？でも、3年前に紛失したなんて聞いてませんよ。」

佐竹「2本持つてたんですね。」

警備員「？」

佐竹「その内の一本はお寺りなんです…あいつの大切な宝物なんですよ…」

警備員「…じゃあ、響さんが探しているフルートは…」

佐竹「大事なお守りです…それを奏が隠してしまった…」

警備員「…響さん今でも探しているんですね…」

佐竹「…やつぱつ、あのと牠…」

警備員「え？」

佐竹「！いえ、なんでも…奏と響を探さないと…奏はフルートの場所を知ってるはず！」

警備員「僕も手伝います！」

遊園地の入り口、

響「どこ？私のフルート？」

フルートを探す響の姿があつた…

彼女が目指す方向にあるのは、ある装置…

この装置が逃走者に新たな試練として立ちはだかる…

～答えと新たな謎～遊園地の事件～（後書き）

新たなミッションが始まる・・・
逃走者の運命は・・・

MISSION3(1)(前書き)

新たなミッションが始まる・・・

MISSHOON(1)

ペニコラッペニコラッペニコラッ

「ハハハ…びっくつするつべ、もひ…//シショングだ！」

憂「『現在遊園地入り口に女性がいる。』え？」「

やまと「『その女性が目指す方向にある装置がある。』…？」

みゆき「『あの装置とは…』」

梓「『賞金リセット装置』…」

つかさ「ええつー？『残り30分になると彼女はその装置を起動させ、』」

律「『賞金は0から再スタートとなる』…ひそだろー？」

あやの「『阻止するには彼女の探してたフルートを見つけ、渡さなければならぬ』。『ええ？』

みなみ「『フルートの場所を知るのは、ミュージックホールにいる女性のみだ。急ぎたまえ。』……。」

MISSHOON
賞金リセットを阻止せよ。

遊園地入り口に

フルート奏者の響が現れた。

彼女の向かう先には、

賞金リセット装置。

残り30分になると、

彼女は装置を調べて

起動させてしまい

賞金は0から再スタートとなってしまう。

これを阻止するには、

彼女に『フルート』を

渡さなければならぬ。

ただし、

『フルート』の場所は、

ミュージックホールにいるバイオリニストの奏しか知らない。

賞金リセット装置は

女神の噴水の近くにある。

いま現在、

残り時間40分45秒

およそ10分後に賞金が
リセットされてしまう。

律「賞金が0からってなんだよ！」

「う「酷すぎるって！」

梓「リセットされたら今までの苦労が水の泡ですよー？」

残る逃走者は9人・・・

いつたいどうなるのか？

MISSION 3 (1) (後書き)

逃走者に
賞金リセットの危機が迫る！

MISSHOONZ (2) (前書き)

賞金リセザイトの危機にどう立ち向かうのか・・・

MISSZONE (2)

セントラルヒリア、
モノリスアートにいた

梓・・・

梓「……ミコージックホールに行かなきゃ。」

再びミッシュョンに挑む…

やまと「……ミコージックホールはあっちか…」

律「行かないといになる。」

あやの「私も行く。」

いづ「行かないいやついないだろ。」

みゆき「ミコージックホールですね。」

みなみ「……」

つかさ「ふえ~、『ワイヤビ…』

続々とミッシュョンに参加する逃走者・・・

参加してないのは・・・

憂「怖くて動けない……」

憂だけだ……

現在、ミュージックホールに一番近いのは……

梓「急がないと、急がないと……」

梓だ……

しかし、近くに……

ハンター……

梓「！ハンターいるよ！？」

しかし、
ハンターは気付いていない……

梓「イベントエリアに入っちゃった……」

ミュージックホールはイベントエリア内にある……

梓「どうじよ？』

そんな事は知らずにイベントエリアに近づいたのは……

つかさ「！」

つかさだ……

ピ――――

ハンターに見つかった・・・

つかさ「...ふや――――」

偶然近くにいたやまとも・・・

やまと「...くつー」

つられて逃げる・・・

だが、その先にもハンター・・・

やまと「...くつー」

ボワン

永森やまと 確保

残り8人

残り時間39分04秒

つかさ「いや〜〜〜！」

ボワン

柊つかさ 確保

残り7人

残り時間38分59秒

やまと「...失敗した！」

つかさ「ふえ〜、怖かつたよ〜」

かがみ「…永森やまと、柊つかさ確保…！」

かがみ以外の牢獄全員「ええ～～～？」

律「永森さん…柊さんも…」

みゆき「つーつかささんか…」

いづみ「…やまとも…？」

残る逃走者は7人…。

みなみ「……」

じつと動かずタイミングをうかがうみなみ…。

みなみ「…今だ！」

一気に駆け込みユージックホールに向かう！

みなみ「…着いた！」

奏はユージックホールの東口にいる…。

みなみ「…どい？」

周りを探すみなみ…。

みなみ「！」

いた・・・

みなみ「…すみません。」

奏「…えつ！？」

みなみ「…あの、フルートを探してるんですけど…」

奏「フ、フルート…」

みなみ「場所を教えていただけませんか？」

奏「…いやつ。」

みなみ「お願いですー♪ひしても、必要なんですよー！」

奏「……………ワイヤーイ広場の……………座席の……………下……………」

みなみ「ありがとうございますー！」

お礼を言つて去るみなみ・・・

奏「……教えるつもり……なかつたのに……」

急いでワイヤーイ広場に向かつみなみ・・・

みなみ「……そうだ！」

ペリッシュ

みゆを「電話…みなみやんから」

ヒ
ツ

みなみ「みゆれれん...」

みゆも「えいっ出したみなみわん？」

みなみーフルートはワイワイ広場の座席の下だそうです。

みゆき - ワイワイ応場... あります。

ピツ

お母さん「じゃね...」

ピリリリツ

あやの「！電話だ。」「

ピツ

みゆも「 やっやっみゆだよ。」

おやの「高嶺ひやん!?

みゆき「フルートはワイワイ広場の座席の下にあるんです。」

あやの「…ありがとう。」

ピッ

律「何でした？」

あやの「ワイワイ広場の座席の下にフルートが…」

律「…！ワイワイ広場つていじじやん…」

偶然にも、

ミコージックホールの途中にあるワイワイ広場にいた律とあやの・・

・

律「あやのさん！他の人にも連絡して！私はフルート探しします！」

あやの「わかった！」

座席に向かう律と、

逃走者に連絡をとるあやの・・・

みなみとみゆき、あやの呼び掛けで全員場所を知ることができた！

あとはフルートを見つけ、響に渡すのみ・・・

残り30分あと6分・・・

MISSION 3 (2) (後書き)

急がないと〇から再スタート！

果たして、

間に合うのか・・・

そして、響と奏の秘密が…

MISSION 3 (3) (前書き)

フルートの場所を知った逃走者・・・
見つけることは出来るのか？

MISSION 3 (3)

響のフルートがワイワイ広場にあることを知った逃走者たち……

急いでワイワイ広場へ向かう……

フルートを探す律……

律「……ない、ない……広すぎるって……」

ワイワイ広場というだけあって広い……

みなみ「……」

そこへみなみもやってきた！

律「探して！」

みなみ「はい！」

これで2人……

「ひ「ビニル・フルート。」

3人目だ……

律「座席の下!」

「うわー オーケーー！」

続々と集まる逃走者たち・・・

あやの「私も。」

梓「やつと着いた…」

みゆき「見つかりましたか？」

これで来てないのは平沢憂ただ1人・・・

憂「みんなやつてるのかな？」

あやのの電話が来たとき・・・

ピコリーリッ

憂『ーー電話?』

ピッ

憂『はい?』

あやの『あやのです。』

憂『どうでした?』

あやの『フルートがワイワイ広場にあるんで、手伝ってくれないか

なあつて。』

憂『ワイヤレスでありますか？』と遠く……』

あやの『じゅあじゅうがなーいね。じゃあ、電話をつかわね』

バジ

憂『あいつ……行くかな……』

憂「いらっしゃい……」

あやの電話で懇意を出して携むよしだ……

一方、ワイヤレスでま……

「ハハハ、見つけたー？」

あやの「まだ~」

みなみ「……（フルフル）」

まだみつからない……

バジ

イベントHコアのゲートにたどり着いた憂……

憂「やつと着いた

ワイワイ広場までもう少しだ・・・

そして、

律「ん?何だこのグニール?」

中を見ると・・・

律「!-!あつたーー!」

田井中律 フルート入手

「う「あつた!-?」

みゆき「ありましたか!-?」

梓「律先輩す」-です。」

そこへ遅れて・・・

憂「...?あれ見つかったんですか?」

憂がやつてきた・・・

梓「いま見つかったところ。」

一足遅かつた・・・

憂「良かつた見つかって。」

そこにハンター・・・

ピ――――

見つかつた・・・

憂「良かつ・・・！」ハンター！ハンター！ハンター！」

「うづ「ヤバッ！」

一斉に逃げ出す逃走者たち・・・

ハンターが視界に捕えたのは・・・

みなみ「・・・！」

みなみだ・・・

みなみ「・・・！」

運動神経は抜群のみなみ、

座席を利用してハンターから逃げるが、
ハンターも追い掛ける・・・

みなみ「・・・！」

徐々に狭まる距離・・・

みなみ「！あつ！」

ボワン

岩崎みなみ 確保

残り6人

残り時間 33分17秒

みなみ「…ハアハア…速い…」

みゆき「！みなみさん捕まりました！」

かがみ「岩崎みなみ確保！」

ゆたか「みなみちゃん！捕まつたの！？」

みさお「けつ」、「足はえ」、「あ。

和「それでも、捕まえるんだからハンターって邊すぎるわ。」

唯「！あ～、あの人のことかな！？」

澪「ひつ、怖い！」

紬「あの方が装置を起動させる方ではないでしょうか？」

が、らき すたメンバーは・・・

ゆたか「…天原先生！？」

ひより「天原先生じゃないですか？」

かがみ「ああ、保健の先生の…」

こなた「そうだよね。」

みさお「ああ、あの先生だよな。」

たまき「間違いないよね…」

みぐ「うん。」

いずみ「なんでここに？」

かがみ「先生ー！何してるんですかー？」

響「…ない…ビニにあるの？」

こなた「？『ど』にあるの？』って言つてるみたいだけど…

唯「あの人ガリセットする人だからでしょ？」

ミユージックホールでは…

梓「ハアツ…ハアツ、危なかつた…」

梓が…

梓「女人？女人がフルートの場所を知つてゐる人かな？」

奏を見つけた・・・

梓「・・・！山中先生！？何してるんですか？」

奏「！だれ？」

梓「え！？私ですよ、中野梓です。」

奏「...知らない...」

梓「...あれ？人違い？」

そして、

律「みんなとはぐれた...けど、急がないと。」

フルートを持っているのは田中律・・・

残り30分あと2分
果たして、間に合うのか？

MISSION3(3)（後書き）

ええ～・・・

じつは

奏はけいおん！の山中先生

響はらき すたの天原先生なんです。

実際の逃走中のドラマの感じをやつてみた結果です。

あつ、男性キャラは

オリジナルです。

作中に出できた

モノリスアートは

セントラルエリアにある

壁に描かれた絵を

オブジェのようにした場所です。いくつも壁があるため、中に隠れたりもできる。

次回でミッション3は
終わりです。

MISSION 3 (4) (前書き)

残り30分あとわずか
逃走者たちの運命は?

MISSION(4)

律「女神の噴水に急がないと…」

賞金リセット装置がある女神の噴水を田指す律…
残り30分まで2分を切つてゐる…

律「間に合え…！ハンターいる…」

アトラクションニアのゲートに隠れる律…
ハンターは気付いてないようだ…

律「はやくビック行けって…」

牢獄では、

こなた「一分切つたよ…」

かがみ「もうヤバイんじやない？」

つかさ「間に合わないかも…」

響はすでに裝置の近くにいる…

響「ないよ…私のフルート…ギー？」

「うう」一分切つてる…

みゆき「ごめんなつているんでしょうか？」

梓「フルート、律先輩が持つてゐるはず。律先輩お願ひ！」

憂「…律さんがんばつて」

あやの「大丈夫かな？」

律「…諦めようかな？ もうダメだ…」

そのとおり…

思い出した…

律『永森さんは誰も見捨てずに全員助けようとしたから…』

律「…私はやらなきゃ、みんなのために…」

残り35秒

律「いまなら、行ける…」

女神の噴水まで一気に走る！

かがみ「あと20秒！」

みく「もう来ないかも…」

律「間に合え！間に合えーー！」

「……！ 来た！ ……りっちゃんだ！ ……！」

澪「律！？」

「本當だわ。」

1
0

律「待ってください！」

響
—
?

律「これをどうぞ！」

唯「すこい！」

つかさ「フルートだ」

響「あ、ああ、私の、私のフルート…」

律「良かつたあゝ…」

響「ありがとひ… ありがとひ…」

かひつとやまとの方を見た律・・・

律「ありがとうございます。」

ミジシヨンクリア

その瞬間タイマーとハンターが停止した・・・

律「よしひ、それじせき…」

響「待ってください。」

律「？」

響「あなたにはお礼をしないといけませんね。」

律「え！？」「いいですよ、そんな。」

響「どういたしまして、お礼がしたいんです。」

律「…わかりました。」

響「ありがとうございます。お礼…」

やつぱり」と、

牢獄の方を見て・・・

響「お仲間ですよね？」

律「？はい。」

響「この中から3人を解放しましょう。」

律「！？えつ！」

牢獄全員「え～～～～～！」

こなた「それって、まさか？」

かがみ「復活！？」

響「ただし、解放するかわりにあなたの方の報酬の半分は彼女に渡してください。」

律「えつ、そこまで？」

牢獄全員「はい！」

響「では、だれを解放しますか？」

律「私が選ぶの？」

響「ええ。」

一気に牢獄が盛り上がる・・・

律は誰を選ぶのか？

律「……じゃあ……」

牢獄全員「…………」

律「永森さんとつかせさんと澪……」

やまと「……えつ……？」

つかさ「……わたし？」

澪「……」

3人以外牢獄「え、なんでも？」

律「……こまのミッションクリアできたの……永森さんとつかせさんの……おかげだから……」

やまと「?私はなにもしてない……」

つかさ「わたしも……」

律「(フルフル) 2人は大切なことを教えてくれたから……だからです。

」

澪「わたしはなんで?」

律「は〜、一番近い存在だから?。」

澪「なんだそれは！」

響「いいですか？」

律「はい。」

サツ

＼＼＼＼

律「……わあつ」

響の奏でるフルートの音色がHリア内に響く。
そして、牢獄にも作用し、

力チャン！

響「……」

永森やまと、柊つかさ、

秋山澪復活

つかさ」「やつた～」

澪「よしつ」

やまと「……」

響「がんばってください。それでは……」

そつ言つて、響は去つてこつた・・・

律「…じゃあ行きましょう。」

やまと「待ちなさい。」

律「？」

やまと「…………ありがとう。」

つかさ「ありがと~」

律「…ありがと。」

やまととつかさも去っていった・・・

澪「…律?...!」

ポロッ... ポロッ...

澪「…2人のためにもがんばれーそして、泣くなー」

律「うん...」

澪（だから、私を選んだのか...）

律「澪、ありがと。」

澪「…じゃあな。」

2人も去っていった・・・

そして、//コージックホールでは・・・

奏「...響」

響「なあに？」

奏「...！響...？許して！許して〜！」

ポン

奏「！」

響「怒つてないから...泣かないで...」

奏「でも、でも、私の...」

響「『ごめんなさい』...」

奏「...なんで、響が謝るの？」

響「私が死ななければ、あなたは死ぬことはなかった...あなたまで
...『ごめんね』」

奏「響！？響〜〜！私がバカだったー』『ごめんね...ごめんね...」

佐竹「...良かつた。」

警備員「…はい。」

しかし、

事件はまだ解決したわけではなかつた・・・

ポロロン ～

MISSION3(4)(後書き)

復活・・・

考
え
て
ま
し
た。

秘
密
の
形
で
・
・
・

ドラマもクラクライマックスに近づいてます！

皆さんお楽しみに～

リリカルショーバイさん

いつも感想ありがとうございます！

皆さんの感想待っております。

タイマー停止～再開～（前書き）

タイマー停止中の様子と
ゲーム再開です。

そして、新たな異変が・・・

タイマー停止～再開

律がミッションを

クリアしたとき、

ハンターとタイマーが

停止した

「へ！？あれっ！？動いてない！？なんで！？」

梓「！－ハンター！－？あれ？動いてない？」

שְׁבָרֶגֶל מִשְׁבָּרֶגֶל

メールだ・・・

ねやの「～」『シソングスクロ』一、

みゆき「『田井中律の活躍により、賞金リセッタは阻止された。』」

梓「『そして、女性がお礼として牢獄の中から3人を復活』！？」
こう「『ミッションをクリアした田井中律が復活させる者を選ぶ間、
タイマーとハンターは停止する。』だからか…」

これにより逃走者は

少し休むことができる・・・

憂「じゃあ、少し休めるんだ…」

「うつ」今のうちに体力回復しよ……

梓「じゃあ、ハンターから離れない」と……

それぞれの行動をとり、

再開のときを待つ逃走者……

そして……

ピコロシッピコロシッピコロシ

メールだ……

みゆき「『復活者決定。復活したのは……』『

「うつ」『永森やまと』…やまと復活した！』

あやの「『柊つかさ』。ひーちゃんだ。」「

梓「『秋山澪』。律先輩……」

憂「『ゲームを再開する。』

つかさ「…緊張する…」

1 2 3 4 5 6 7 8

律「スタート！」

やまと「…始まつた。」

ハンター再起動…

残り時間およそ30分…

復活した澪…

澪「あと30分か…」

復活させた律…

律「まだ30分かあ……」

2人の感覚は違つよつだ・・・

復活したつかさ・・・

つかさ「…ふう。」

同じく復活したやまと・・・

やまと「…

2人の目標は同じ・・・

やまと「…逃げ切る。」

つかさ「最後までがんばる。」

逃げ切りだ・・・

そして、澪も・・・

澪「最後まで行きたい!」

逃げ切りだ・・・

憂「……」

再び観覧車に隠れる憂・・・

「……」が落ち着くよつだ・・・

「やつぱ、動いてた方が捕まんない。」

最初のときと同じよう

隠れるつもりはないよつだ・・・

パールキヤツスルの近くに・・・

あやの「ハンターは来ない……ね。」

あやのだ・・・

あやの「……ミシシッ……まだありそ」

ミシシッの心配をしてくる・・・

その心配は・・・
的中する・・・

時はゲームが再開する少し前にさかのぼる・・・

ミュージックホールでは・・・

新たな異変が起こるとしてた・・・

? ? 「……」

ある男性がピアノの近くにいた・・・

ガタンッ

? ? 「…………樂譜…………あと4枚…………思い出せない…………」

椅子に腰をかけ、
呟いた言葉・・・

そして・・・

バ～ン ポロロン ポロロン ～
ダン ダン ダン ダン ～

響き渡るピアノの音に・・・

奏、響、佐竹、警備員が気付いた・・・

タイマー停止～再開～（後書き）

ミュージックホールで
新たな異変が始まる！！
ドラマはクライマックスに向かっています！

～真相～ピアノの旋律～遊園地の事件～（前書き）

遊園地の事件の真相が
明らかに・・・

～真相ヒミツアノの旋律～遊園地の事件～

ダン ダン ダン ダン ～ポロロン ポロロン
ポロン ポロン ポロン ポロン ～

ミコージックホール内に
響く♪アノ・・・

それが奏でる音色はあるで・・・

響「むなし」

警備員「むなし」?

奏「心に響かない…そんな音色だわ…」

佐竹「……あいつだ。」

警備員「あいつ…まさか、3年前の…」

佐竹「……やつぱつ…！」にいたんだ…」

警備員「やつぱつ…！」

佐竹「……」

奏「雄くん、何か知ってるの？」

響「…教えて、雄くん…」

佐竹「……ラブ&フレンズ……」

警備員「…ラブ&フレンズ?」

響「新しく…作ってた曲ね…」

奏「私も知ってる…とても大事に…大切に作ってた曲だわ…」

警備員「それがいつたい?」

佐竹「……あの事故のあと、楽譜を見たんだ。…足りなかつた…」

響「…足りなかつた?」

奏「…まさか!…?」

佐竹「4枚なくなつてたんだ!」

響「どうして…?」

警備員「…あの事故のとき持つてたはず…風でじざされたのでしょ
うか?」

奏「…私が…響のフルートを…隠したりなんかしたから…」

響「奏、違つわ。奏は悪くない!」

奏「でも…私が…」

佐竹「ちがう……僕のせいなんだ！」

奏「……？」

響「……雄くん？」

警備員「……」

佐竹「あの楽譜を……隠したりしたからー！」

響「隠した……？」

佐竹「あいつの事故……転落したといひて楽譜を隠したんだ……そのあと……あいつが……僕のせいなんだ！……あのあと、死のうと思つて屋上に行つた……」

奏「……えつ……まさか……」

佐竹「（「ク）お前が飛び降りるところを見たんだ……遺書も見た……」

警備員「事故じゃない」と最初から知つてたんですね……事故になつたのは、佐竹さんが……ごまかしたからですね。」

佐竹「（「ク）……死ねなかつた。僕は卑怯だ。大切な友達を死なせてしまつたばかりか、その原因の僕だけ生き残つた……本当に死ぬべきなのは僕なんだ！」

響「バカ……」

佐竹「！」

響「死ぬなんて言わないで…雄くん…」

佐竹「響…」

響「生きて…生きて…私たちの分まで、音楽をやつしてよ…」

奏「雄くんも…苦しかったんだね…」

佐竹「奏…」

奏「許してくれよ…彼なら…私が愛した人だもん…」

響「奏やつぱり…」

奏「…ごめんね…私も好きだったの…だから、あんなことを…」

佐竹「…僕もだ」

奏「え…?」

佐竹「…ずっと…響…お前のことが…好きだった…あいつと結婚するって聞いたとき…嫉妬した…だから、あんなことを…」

じつは響とピアニストの男性は結婚することが決まっていた。

しかし、

奏もピアニストのことが

佐竹も響のことが好きだった…

嫉妬した2人は

3年前のあの日に

2人にとってとても大事なものを隠してしまった……

探した2人は不幸にも事故で亡くなってしまい、

それを苦に奏は自殺をした……

それを目撃した佐竹は

遺書を読みすべてを知った。奏が自分と同じことをしていたことを・

佐竹は奏の死を

事故のように偽装した。

それは自分と奏を重ねてしまつたからかもしれない……

響「雄くん…」

奏「響のフルートを隠したりしなければ、響は死ななかつた…」

佐竹「あいつの楽譜を隠したりしなければ、あいつは死ななかつた

…」

響「私が死ななければ、奏は死ぬことはなかつた…」

警備員「……」

響「でも、雄くんは生きてる…それだけは嬉しい…」

佐竹「…」

奏「生きて、私たちの分まで…彼の分まで…」

佐竹「いいのか？生きていて……」

奏、響「うん。」

佐竹「……わがつた。みんなの分も生れる。みんなの分の音楽をやるよ。」

奏、響「ありがと。」

ダンダンダンダンダンダンダンダン
ポロロン～
ポロロン～
ポロン～ポロン～

警備員「？音が止んだ？」

佐竹「……ここからだ。ここからの楽譜がないんだ。」

奏「……忘れてしまつたんだわ……」

響「……大切な思いも……」

……ダーン

警備員「……」

ダーダーン～ダーダーン～

奏「……この曲……」

響「『悲しみは永遠に』だわ」

佐竹「あいつの作った…唯一の悲しい曲だ…」

奏「…似合わないよ…」」んな曲…」

響「…いつだって、明るい曲を弾いてたの…」

佐竹「…探していく。」

警備員「…何をですか?」

佐竹「残りの楽譜を…」

警備員「無茶だ!無くなつたのは3年前ですよ。」

佐竹「…それでもだ。」

警備員「ああ…」

奏「雄くん…」

響「…」

サツ

奏「響…」

響「悲しい曲は似合わないから、私は彼のために演奏するわ。私にできるのは…これだけだから…」

～～～～～

警備員「私も探しします。」

奏「響…私は…なにもできないなんて…バイオリンがあれば…」

3年前に失われた楽譜は
一つの宝箱に眠つてた…
だが、そこにある人影が…

? ? 「始動だ…」

その言葉の瞬間…

観覧車の3つの「パンダ」にハンターの姿が…

そして、

『悲しみは永遠に』が
タイマーにどんなない作用をしてしまう危機があることを誰も知
らなかつた…

～真摯ピアノの旋律～遊園地の事件～（後書き）

怪しき影と悲しき曲が
招く事態とは？

MISSION 4 (1) (前書き)

最悪のハラシモンが
始まる・・・

MISSHOZ4 (一)

ペニコシペニコシペニコシ

メールだ・・・

梓「...來たー』//シション4』！

みゆき「『//ゴージックホールから流れれる音楽にはある秘密がある
...それせ...』」

「//『時間リセッタ』...?」

つかさ「『』の曲が最後まで流れてしまつて残り時間が再び80分
に戻つてしまひ。』ええ~~~!」

あやの「『阻止するには、メモリー』一ソングにある楽譜を//ゴージ
ックホールにいる奏と響に渡さなければいけない。』

律「ええ~、『なお、曲は残り10分に終了する。』
「//『これはヤバイってー』

やまと「...最悪...」

牢獄でも

かがみ「//『』酷めてもー。』

唯「ミッションがかなり難しいよー。」

MISSION 4

時間リセットを阻止せよー。

エリアに流れる曲は

『悲しみは永遠に…』

残り10分になると

曲が終わり、

残り時間が再び80分から

スタートしてしまつ。

そして、再スタート後の

残り10分になるまで賞金は増えなくなり、

ミッションも

やり直しになる。

阻止するには、

メリーゴーランドの

宝箱にある楽譜を

ミコージックホールにいる泰と響に渡さなければいけない。

いま現在、

残り時間およそ28分

ミッション終了まで

あと18分・・・

その時・・・

ピコロッピコロッピコロッ

あやの「…またメール！『通達3』！」

梓「『観覧車のゴンドラの中』3体のハンターがいる。『え？』

やまと「『彼らはゲーム終了』まで逃走者を監視する。『…？』

澪「『見つかれば地上にいるハンター』位置を知らせ、『…？』

みゆき「『確保に向かう…あそこからですか？』

じゅり「『見えてんぢやないの！？ヤバイ…』

通達3

観覧車のゴンドラに3体のハンターがいる。

彼らはゲーム終了まで

逃走者を監視し、

発見した場合、

地上のハンターに位置情報を知らせる。

憂「…観覧車から…？」

観覧車の近くにいた憂…

憂「離れないと…」

観覧車から逃げる…

だが・・・

ルルルルルルルルルル

その様子を・・・

ピーン!

ハンターに見られた・・・

MISSION 4 (1) (後書き)

監視ハンターに
見つかった憂・・・
いつたいどうなる・・・

MISSION 4 (2) (前書き)

最悪のミッション・・・

時間リセットの危機！

監視ハンターに見つかった憂の運命はー!?

MISSZONE(2)

監視ハンターに
見つかった憂・・・

憂「…」のままメリー「――ランダ」…

その近くに通報を聞いたハンター・・・

憂「見つかってないかな…？」

見つかってる・・・

ペ――――

憂「…」キャラ――――

見つかった・・・

憂が逃げる先には・・・

梓「メリー」「ランダ」…

梓だ・・・

憂「キャラ――――」

梓「…なに？…！ヤバイ！」

このとき、

憂が梓を追い抜いたため、
ハンターの標的が憂から梓に変わった！

梓「ヤダツ！イヤアー！」

ボワン

中野梓 確保

残り8人

残り時間 27分22秒

梓「…油断した…見つかったのかな？…くやしー！」

見つかった憂は…

憂「…ハアツ…ハアツ…もう行けない…」

アトラクションヒリアから逃げることが出来たようだ…

憂「レストランストリートに…隠れよう…」

しかし、

監視ハンターからは…

ピーン！ピーン！

のがれてはいない…

再び近くのハンターが確保へと向かう…

憂「…またつ！イヤアー！」

唯「！憂だ！」

純「ハンターに追われてる…」

紺「がんばって～！」

憂「…ハアツ…もうダメ…」

あきらめた…・・・

ボワン

平沢憂 確保

残り7人

残り時間25分14秒

牢獄ほぼ全員「あ～～～～」

唯「憂～～～～」

あやの「もう逃走者少ないよね。」

残りは7人…・・・

澪「ミッショントライけど…観覧車の近くなんだよなあ～

メリーゴーランドは観覧車の近くにあるため、リスクはかなりある…・・・

律「…行かなあや…時間つセシトは…せつわざる…」

「…あやになんだけど…タイミングが重要だな…」

ミッションに挑む律といへ、

たどり着けるのか・・・

ミコージックホールにいた柊つかさ・・・

つかさ「聴こえる…ピアノの音…」

つかさの前に・・・

つかさ「?」

奏「あ、あの…」

つかさ「…びっくりした…は、はい、なんでしちゃうか。」

奏「私のバイオリン…知りませんよね…」

つかさ「なくしたんですか?」

奏「ええ…それがあれば…」

つかさ「…探しましょうか?」

奏「え…でも…」

つかさ「大事なものなんですね?心当たりはないですか?」

奏「…………あひ。ワイワイ広場。ワイワイ広場のステージ控え室もしかしたら……」

つかさ「ワイワイ広場…わかりました。探してきます。」

奏「…ありがとうございます。」

ひょんな事からバイオリンを探しに向かいつかせ…

やまと「…メリー、パー、ラングまで距離がある…はさて、行かないと危ない。」

イベントニアゲートにいるやまと…

やまと「観覧車がやつかいね…」

観覧車を警戒する…

やまと「…死角はないかしら。」

どうやら死角を使って向かいつ作戦のようだ…

一方、ワイワイ広場に向かいつかせ…

つかさ「…怖いよ〜。」

ハンターを見つけた…

つかさ「どうしよう…」

ハンターは気付いてないが、
身動きが取れない…・・・

「う「…行くか！」

ダッシュでメリー、「ランデまで向かう！」
・・・

「う「行ける！」

監視ハンターは気付いていない・・・

「う「よしー宝箱は…あつた！」

宝箱発見！

「う「よじつ…えつ…」

何かに驚く「う…・・・

「う「…なにも入ってない…」

なんと宝箱は空っぽだった！

いつたいこれはどういう事なのか・・・

MISSION 4 (2) (後書き)

宝箱が空だった！？
いつたいどうなるのか？

MISSONI 4 (3) (前書き)

あるはずの楽譜が消えた・・・
いつたこどりにあるのか・・・

MISSHOZ4 (3)

「なんで！なんで何も入っていないんだ！？」

宝箱を開けた。「…

しかし、中身は空っぽだった。…

楽譜はこいつたこぢりへ。…

そのとおり。…

「…？」「…あの～」

「…」

「…」「あっ、すこません。驚かせてしまつたよつで…」

「…警備員…やん？」

警備員「はこ、ひかりの警備員です。」

現れたのは警備員。…

警備員「どうなさこました？」

「…この中に楽譜があつたはずなんですよけど、無いんです。」

警備員「樂譜…ええ…あれが樂譜…？」

こう「知つてゐんですか？」

警備員「……じつは、この箱にイタズラか何かで物を入れる方が多くてですね……その中に大きな封筒が4つあります……落とし物と思いまして各エリアの管理室にしまってあります……」

「各エリアの管理室ー？」

じつは警備員が宝箱にあつた楽譜4枚を、各エリアの管理室に持つていつてしまつた。

警備員「すいませんでした！」

「いや、場所がわかつただけよかったです。急がない」と……」「なら、アトラクションエリア管理室に！」

こうがアトラクションエリアの管理室に急ぐ――

「ゲートの近くに……あつた。」

力チャツ

גָּדוֹלָה... הַ

楽譜は机の上だ
・
・
・

「うーん、これか?... これだ!」

八坂二つ 楽譜1枚入手

「あと一枚…電話じょい。」

ピココロッ

やまと「…」から。」

困ったとれはやまと…。

バ
シ

やまと「…なー。」

「…やまと？ 楽譜が各エリアの管理室にしまってあるんだって、だからメモ一ヶ一ヶソーデジやなくて、近くのエリアの管理室に行つてー。」

やまと「…あれ本当？」

「…アトラクションエリアで楽譜見つけたー。」

やまと「…わかったわ。イベントエリアの管理室に行つてみる。ありがと。」

バ
シ

「…やまと」

律「一電話だ！永森さんから？」

やまと「田井中さん？」

律「はー。」

やまと「こまびこしている？」

律「いまセントラルエリアのモノリスアートです。」

やまと「なら……セントラルエリアの管理室に行つてくれる？」

律「え？」

やまと「楽譜が4つに分けられて、各エリアの管理室にあるみたいなの……」

律「そうなんですか？わかりました。行つてみます。」

やまと「大きめの封筒に入つてるさつよ。気を付けて。」

律「はー。」

ピッ

やまと「…」

ハンターを警戒しながら、
ワイワイ広場に向かうつかれ・・・

ピココリッ

つかさ「...はりつー...電話だ...」

ピッ

やまと「つかれ先輩?」

つかさ「やまとちやん?どうしたの?」

やまと「こまどりにこまますか?」

つかさ「//ゴージックホールの近くだよ。」

やまと「...そうですか...わかりました。失礼します。」

ピッ

つかさ「大事なことだつたのかな?」

ピリリリッ

澪「...びっくりした...律だ」

律「澪、一回しか言わないぞ。いまどい?」

澪「え？ ショップの近く…」

律「てことは、レジヤーハリアだな。」

澪「ただけで…」

律「レジヤーハリアの管理室で楽譜を探してくれ。大きな封筒に入つてるさ。」

ビッグ

澪「…いきなりだな。…でも、楽譜が管理室にあるなんて…入口の方か…」

残り3つの管理室に向かうのは

永森やまと、

田井中律、

秋山澪の3人だ…

しかし、観覧車には3体の監視ハンター…
ハンターの目からのがれて、
無事にたどり着けるのか…

MISSION 4 (3) (後書き)

管理室に向かう3人の逃走者・・・
無事に楽譜を手に入れることができるのか・・・

MISSZONE (4) (前書き)

名工房の
管理室にある楽譜を
無事に手に入れることができ
であるのか・・・

MISSZONE 4 (4)

イベントHリニアの管理室に向かうやまと・・・

やまと「時間は…22分17秒…」

ミッションまで残りおよそ12分…・・・

やまと「…！」ね。」

間に合ひのうか・・・

澪「近くで良かつた…」

無事にレジャーHリニアの管理室にたどり着いた澪・・・

力チャヤツ・・・

澪「この中のどこか、か…」

律「…見つかって…ないよな。」

監視ハンターを警戒する律・・・

律「！ハンターいた！！」

ハンターを見つけた律・・・

しかし、ハンターは気付いてない・・・

管理室に近づけない・・・

やまと「……これ？……これだ。」

永森やまと 楽譜1枚入手

卷之三

一一一

七

卷之二十一

其批評は、一概に樂譜原の立た

「アーラクションエリアの管理室から出られなくて…」

やあり……此に集まる?私は花時計か!と思ひ出で

（ハンターは）見つかぬし？」

やまと「…賭けよ。残り18分になつたら、伝流しましょう。」

こう「わかつた」

やがて「へんへんばーこーど…」

澪「見つけた！」

秋山澪 樂譜 1 枚入手

澪「律は？」「とりあえず、ミュージックホールに行こう。」

よつせく、管理室に着いた律・・・

力チヤツ

律
「どこだ？」

や」と検索が始まった・・・

つかれ「ワイワイ広場だ〜」

バイオリンを探すつかさもようやくワイワイ広場に着いた・・・

つかさ「ステージ控え室……あそこだよね。」

力チャヤツ

つかさ「…ええ、広い…」

意外にも控え室は広い、

ここを探すのは骨が折れる・・・

つかれ「…でも、やらな」と。

バイオリン探しが始まつた・・・

律「あつた！：間違いないこれだ！」

田井中律 樂譜1枚入手

律「よし、あとは……あれ、澪か？」

律が見たのはミュージックホールに向かう澪の姿……

律一：澪！」

澪一！律！」

漆も律を発見

律「一」

管理室に澪を呼ぶ

律「見つけた？」

澪「ああ、これ。」

律「よつしや。こま2枚あるから、あとの2枚を永森さん達が手に入れれば……」

澪「合流するのか?」

律「できたりやつしたいけど……」で捕まつたらヤバイし、先に行こうか。」

澪「よしつゝ、じやあ行こ!」

2人でノルマジックホールに向かうよ!だ・・・

みゆき「こまびつなつてこるのよしゅう!」

メリー「――ハンダを田畠すみゆき・・・

しかし、みゆきは箱が空っぽであることを知らない・・・

その様子を見たひう・・・

「……メリー、――ランダに向かってる? 知らないのか?」

ペニココツ

みゆき「?」

ペニ

みゆき「はい。」

「ハ坂です。」

みゆき「どうしました?」

「メリー『ゴーランド』に楽譜無いです。楽譜は一枚ずつ各エリアの管理室にあります。」

みゆき「…なんですか?」

「いま私とやまとが一枚ずつ持っています。だから、あと2枚です。」

みゆき「わかりました。では…」

ピッ

「勇気あるなあ。観覧車から見えそ�で…怖いです…」

みゆき「観覧車から見えそ�で…怖いです…」

だが、本人は内心おびえてる…・・・

あやの「ひーちゃん達大丈夫かな?」

ピリリッ

あやの「…ひーちゃんからだ…」

尊をすればなことせり。・・・

あやの「じゃしたの?」

つかさ「こめじー。」

あやの「こま、イベントホールのモノリスター。」

つかさ「やうなんだ……」

あやの「じひしたの?」

つかさ「バイオリンを探すの手伝つて欲しくて……」

あやの「?.樂譜じやなく?」

つかさ「つさ。頼まれて……」

あやの「ひーひきりこなあ。で、こめじー。」

つかさ「ワイヤワイヤ広場のステージの控え室。」

あやの「遅くなるかもしれないけど、さっそく行ってみるね。」

つかさ「あつがとー」

シバ

あやの「樂譜は…何かせよ?」

あやのも楽譜探しを手伝いにいく・・・

律「ふう、なんとかイベントエリアまで来たな。」

零「あとは//コージックホールに向かえば…」

律と濛はうまくたどり着いたようだ。・・・

「もう少し時間だ。」

約束の場所へ向かうこう・・・

やまと「うつ遅れて来な」といひがぢ……」

すでに花野誌の近くにいるかとす

「あー 急いでほんかいいが。」

やあと……來た

だが

۲۰۸

監視ハンターが・・・

፳፻፲፭

花時計に向かうじつひの姿を・・・

ピーン！

捕らえた・・・

MISSZONE 4 (4) (後書き)

監視ハンターに見つかったら、いつたいどうなるのか……

MISSION 4 (5) (前書き)

監視ハンターに見つかった。いつ……
ハンターが迫る……

MISSZONE 4 (5)

監視ハンターに見つかった」「…

「これは办の」とこ氣付いてない…

「」「お待たせ。」

やまと「…待ったわ。」

「…」
やまと「…」
「…」
通報を聞いたハンター…

「」「これが楽譜。」

やまと「これで2枚ね。」

「」「あと2枚は?」

やまと「別の人…ハンター…?」

「」「…わつ…?」

見つかった…

あやの「…ハンター…?」

近くにいたあやのもつられて逃げる…

ハンターが視界に捕らえたのは・・・

こう「……！ヤバイ……」

こうだ

۱۰

「あめつ」

八坂こう
確保

残り時間 17分29秒

こう「ハアツ・ハアツ・ハアツ・速い・」

やあと、じうの拂あつた……じうの樂譜受け取つといで良かつた……

樂譜は無事だ

「...一頼む」

あやの「ハアツ：ハアツ：危なかつた！」

あやのが逃げた場所は・・・

あやの「あれ?」... ワイワイ広場だ!」

目的地のワイワイ広場だ・・・

あやの「急いで。」

律「着いた！」

澪「うーん。」

ミゴージックホールにたどり着いた律と澪・・・

律「誰に渡すの？」

澪「…あの人じゃないか？」

奏と響を見つけた・・・

澪「……すみません……わっ！」

律「あれ？さわちやん何してんのー？」

奏「さわちやん？私は奏ですが…」

律「え？…あー…わちやんじーん！」

その様子を見た響、

演奏をやめ3人に近づく・・・

響「あ、あの？」

澪「は、はーーー？」

響「どうして、ひらひら？」

律「あつ、そうだ。これを……」

楽譜を渡す律……

響「！これラブ&フレンズの楽譜！」

奏「本当だわ。……でも2枚しかない……」

律「あと2枚まだ……永森さんまだなんだ……」

澪「どうある？律……」

律「大丈夫！永森さんなら大丈夫！」

澪「……ああ。」

ミッションをクリアするにはあと2枚の楽譜が必要……
楽譜を持つのは永森やまとただ1人……

つかさを手伝いに来たあやの……

あやの「控え室つて……」

力チャツ

つかさ「はうつ……」

あやの「ひーちゃん、私。」

つかさ「あやちゃん！」

あやの「手伝いにきたよ。」

これでバイオリンを探すのは2人・・・

律「私ここで待つけど、澪は？」

澪「私もここで……ハンターだ……！」

律「……わっ！」

ハンターが2人に迫る！

二手に分かれる律と澪・・・

律「ハアツ……ハアツ……」

澪「ハアツ……追って……来ない……」

建物と茂みを利用して2人ともハンターを撒いたようだ・・・

律「あぶねえ……」

澪「危なかつた……」

やまと「なんとか逃げれた……」

先ほどのハンターに追われたやまと・・・

やまと「でも、しうが捕まつた……『めん……』

しうが捕まつたことに罪悪感を感じてこだわりだつた・・・

その近くに・・・

澪「いまホールに戻るのは危ない……」

澪だ・・・

澪「ビックリする？ 永森さん？」

やまとを見つけた・・・

やまと「え？ 秋山さんだっけ？」

澪「はー。」

やまと「……楽譜じつになつてゐる。」

澪「2枚は渡しました。」

やまと「……楽譜じつになつてゐる。」

澪「一楽譜……律の言つた通りだ。」

「…………」

やまと「え？」

澪「永森さんなら大丈夫って言つてましたから……」

やまと「…………やつ…………けど…………無理かも…………」

澪「えつ……？」

やまと「…………私のせい……」うが…………捕まつた…………賭けは失敗だった…………も
う…………自信ない…………」

澪「永森さん…………ハンターになります……」

やまと「えつ……？」

先ほど、律と澪をおいかけたハンターだ……
しかし、ハンターは気付いてない……

やまと「…………もつ…………無理ね…………」

澪「…………律はあなたを信じています。行つてあげてください……」

茂みから出た澪！

やまと「…………ちよつ…………」

澪「お願いします！」

澪がセントラルエリアの方へ走りだす！

ハンターが澪に気がついた・・・

そして、監視ハンターも・・・

ピーン…ピーン…

見つけた・・・

近くにいたハンターが澪を狙う！

やまと「…秋山さん…まさか、私のために…？」

澪はやまとを信じる律のために・・・
そして、弱気になっていたやまとのために・・・
おどりになつた！

やまと「…『めんなさい。秋山さん…ありがとうございます。』」

この隙に//コージックホールに向かう！

澪「…来た！」

ピーン…

澪（怖い！けど…）

更にもう一体のハンターが澪を見つけた！

澪「！わっ！」

ピ―――

澪「！――！」

ボワン

秋山澪 確保

残り5人

残り時間13分44秒

澪「…永森さん…行つたかな？…大丈夫か。」

やまと「秋山さん…」めんなさい…」

律「澪が…捕まつた…」

つかさ「あやちゃん見つかった？」

バイオリンを探すつかさとあやの…・・・

あやの「まだ。……！あつた！」

つかさ「やつた！」

峰岸あやの 奏のバイオリン入手

あやの「これどうするの？」

つかさ「ミコージックホールの奏さんに渡すの。」

あせの「じやあ、行こ!」

2人そろつて、控え室を出る・・・

しかし

監視ハンターが・・・

ପ୍ରକାଶକ

控え室から出た2人を見た・・・

一ノ郎

近くのハンターが確保に向かう・・・

あやのー！ハンターかな？」

つかさー！ええー！

見二か二た

あやのー！来た！」

つかさ「！ふえう！」

つかさが逃げ遅れた・・・

つかさ「ふえ〜ん！」

ボワン

柊つかさ 確保

残り4人

残り時間12分32秒

つかさ「捕まっちゃった……めんなさい……律ちゃん。」

あやの「……ひーちゃん捕まっちゃった……私が行かないと……」

律「……柊さんも捕まつた……永森さん……大丈夫だよね。」

残り10分までおよそ2分

間に合うのか・・・

MISSION 4 (5) (後書き)

バイオリンを持つあやの・・・
楽譜2枚を持つやまと・・・
ミコージックホールにたどり着けるのか?

MISSONI 4 (6) (前書き)

時間が迫る . . .
間に合ひのか . . .

MISSHON 4 (6)

ミコージックホールに向かう・・・

やまと「時間がない・・・」

永森やまと・・・

あやの「…バイオリン持ちながらいつでもいい」

峰岸あやの・・・

しかし、エリアには3体のハンター！

そして、観覧車には3体の監視ハンター、見つからずにたどり着けるのか・・・

あやの「……やつた！着いた！」

先に着いたのはあやの・・・

律「…あれ？ 峰岸さん？」

あやの「あ、律ちゃん…」

律「…なんですか、これ？」

あやの「バイオリン…秦さんで渡すの。」

律「…メールにありましたつけ？」

あやの「ひーちゃんが頼まれたの。捕まつちやつたから私が…」

律「…りじこですね。さわひちゃん…じゃなくて、秦さんはあや！」です。」

あやの「あつがとう。」

奏のもとで述べあやの…

やまと「わう少…」

やまとも急いで向かひー…

あやの「秦さん…」

奏「え？あ、私のバイオリン…」

あやの「はー！バイオリンです。わいわい。」

奏「ありがとわ。」れで…

（～～～～～）

響（あの人…悲しみの思ひが…強く…誰か…）

{ { { { { {

響（えつ？奏！？）

奏「響。私もいるよ…」

§ § § § §

2人の奏でる曲が
エoliaこ響き度る

それはピアーストにも届いた！

この音色が御の心をほんの少しおかげで
おたかがくさせた

効果があつた

監視ハンターの動きが

止めた。・・・

פָּרָשַׁת שְׁבָעָה

律「メール？」峰岸あやのが奏にバイオリンを持つていつたおかげで、監視ハンターの機能が停止した。『！』

みゆき「『ただし、残り4分になると再び動き出す。』』

あやの「あーこー…やつた～」

やまと「…こまがチャンスー。」

急いで向かうやまと・・・

残り一分を切った・・・

みゆき「あと一分もあつませんね…」

あやの「楽譜…信じなことね。」

律「永森さん……」

やまと「…………やつ見えてるー。」

ミシシワノ終】まで残り45秒

やまと「…着いたー♪ここでの？」

律「一永森さんーあつちですー。」

やまと「ーあつがとひー。」

残り30秒

やまと「すこませんー。」

響、奏「……」

やまと「「これで…」

響「…残りの楽譜だわ…」

奏「ありがと…」それで彼を…」

やまと「…やつた…」

ミシシエングリニア

やまと「…あれ? いなくなつた…?」

ポロロン ～ポロロン ～ポロロン ～

「待つて…」

ポロ…

ピアースト「…?」

響「あなたの探し物よ…」

奏「ラブ&フレンズの残りの楽譜よ…」

ピアースト「…」

ガタッ

ピアニスト「……おお、ラブ&フレンズの…楽譜だー。」

再び、椅子に腰を掛け
ピアノに触れる・・・

MISSION 4 (6) (後書き)

無事に楽譜を渡せたやまと・・・
そして、事件も
終わりに近づいた・・・

～ラブ&フレンズ～ 遊園地の事件～（前書き）

「ラブ&フレンズ」

愛と友だち・・・

4人が再び出会った・・・

～ラブ&フレンズ～ 遊園地の事件～

ダン ダン ダン ダン ～ポロロン ポロロン
ポロン ポロン ポロン ポロン ～

再び、ピアノの音色が響き渡る・・・
だが、今度は・・・

響「…あたたかい…優しい音色…」

奏「心があたたかくなる…彼らしい音色だわ。」

遊園地の外にいた佐竹にも届いた。

佐竹「…ラブ&フレンズ…楽譜が…見つかったのか？」

ダン ダン ダン ダン ダン ダン ダン ～
ポロロン ～
ポロン ～
ポロン ～ ポロン ～
ポロロロロン ～ ポロロン ～
ポロロロロン ～ ポロロン ～
ポロン ～ ポロン ～ ポロン ～
ポロロン ～ ポロロン ～
ポロロロロン ～

パチパチパチパチ
パチパチパチパチ

響「……」

奏「……」

無言で拍手をする響と奏

響「…変わらない…」

奏「誰もが虜になるような」

佐竹「心がこもったピアノの音色…」

奏「…雄くん…」

佐竹「本当に変わらない…お前の心も…演奏も…誰にたいしても優しいお前に…僕は…本当に…すまなかつた…」

響「雄くん…」

ピアースト「…顔をあげて…」

佐竹「…？」

顔をあげたとたん、

類を引っ張られる佐竹

ピアニスト「なに暗い顔してんのや、雄。」

佐竹「え? いや…」

ピアニスト「…雄、老けたか?」

佐竹「は…?」

奏「ふつ…」

響「…ふふつ」

佐竹「笑うな…!」

ピアニスト「悪かつたな。」

佐竹「!?.なんでお前が謝るんだよ!」

ピアニスト「あの時の事故は俺の不注意なんだ。お前は関係ないんだ。自分を責めるな、雄。」

佐竹「…お前には…適わないな。…ありがとう…」

ピアニスト「ハハハッ…お前のそんな顔初めて見た。傑作だな!」

佐竹「お前なあ…!」

奏「……」

ポンツ

奏「！」

響「…行きましょ。」

奏「ええ。」

出会いえるはずがなかつた4人・・・
しかし、この年

4人が再び出会えた・・・
奇跡の年、奇跡の日となつた・・・
そして、4人の友情は
3年前からずつと変わらなかつた・・・

～ラブ&フレンズ～ 遊園地の事件～（後書き）

変わらない友情・・・

変わらないものがそこにあった・・・

ゲーム終了間近（前書き）

ミッションクリアし、
監視ハンターは機能停止中。
残り時間も10分を切った！
いつたいどうなる？

ゲーム終了間近

תְּהִלָּה

メーリルだ

みやわ -『川芝生』結果、田井中律と永森やまととの活躍がなった。

あやの『時間リセットは免れた』。すごい!

律一や二た！永森さんや二た！」

卷之三

こなた「誰か逃げ切るかな？」

かがみ「どうかな?」

みなみ みゆきさん逃げ切るかと

「みわお、あやの」「かた？」

た冊物・ヰセキの本

「アーティストがんばり屋」

「いつちやんは？」

紹「どうぞよろしく。」

和「監視ハンターが残り4分になつたら動くから…」

純「全滅ですか！？」

みぐ「わかんないよ。だれが生き残るかなんて。」

律「あつ、永森さん！」

やまと「…田井中さん…」

律「信じてました！成功するって！」

やまと「…でも…」

律「？」

やまと「私のせい…秋山さんが…」

律「え？」

やまと「…」めんなさい…

律「…あやまんなくとも、大丈夫ですよ…」

やまと「…」

律「澪はそんな事気にしないですって。」

やまと「……」

律「……私はじつは永森さんに感謝しています。」

やまと「……？」

律「賞金つセツトのときあからめてました。ナビ永森さん仲間を見捨てなかつたから私はがんばれました。」

やまと「……私は自分のせいでもいつも秋山さんも捕まつた結局私は見捨てたわ。」

律「ちがうー！」

やまと「……？」

律「八坂さんだつて、澪だつて見捨てたなんて思つてない！自分が捕まつても永森さんなら大丈夫だと思つてたはずだ！」

やまと「……」

『いつやまと頼むーー』

澪『……律はあなたを信じています。行つてあげてくださいー。』

やまと「……私は幸せ者ね……こんな風に思つてくれる人がいて……」

律「永森さん……」

やまと「… やまと

律「え？」

やまと「やまとでこい… 私も律って呼ぶから…」

律「うふ。やまと。」

やまと「あつがとう… 律…」

監視ハンターの機能停止といつ活躍をみせたあやの…

イベントエリアを抜けて、
レジヤーハリアに向かう…

あやの「こまのうひの躰れよう。」

アトラクションエリアからこまだ離れてないみゆき…

みゆき「離れまじつか。」

みゆき「離れまじつか。」

みゆき「… ハンター！」

見つかった…

みゆき「…イヤア…」

アトラクションを利用して距離をとる・・・

つまく撒いたようだ・・・

みゆき「ハアッ…ハアッ…びっくりしました…」

さすがはできる女・・・

あやの「！」見通しこそ、睨つかるかも…」

セントラルヒリ亞とレジャー・ヒリ亞の近くに立てるあやの・・・

その近くにハンター・・・

ペ―――

見つかった・・・

あやの「…！」ちち危ないかな？…！イヤアーッ！」

ペ―――

あやの「ヤダッ！イヤアー！」

ボワン

峰岸あやの 確保

残り3人

残り時間 6分32秒

あやの「…怖かつた～…」

かがみ「峰岸あやの確保～！」

みせお「あやのも捕まつたかあ…」

梓「あと誰残つてゐんですか？」

かがみ「残つてゐるのは、高良みゆき、永森やまと、田井中律の3人！」

こなた「！」まで来たら、逃げ切れーー！」

牢獄ほぼ全員「がんばれーー！」

律「残り3人かあ…私残つてゐし…」

こじまだ生き残つてゐる事に不思議な感じを覚える田井中律…・・・

みゆき「皆さんの分までがんばらなこと…」

先ほどハンターに見つかり振り切つた高良みゆき…・・・

やまと「…復活したのは、もう私だけ…」

唯一の復活組の生き残りの永森やまと・・・

ゲーム終了まで

残りおよそ5分・・・

果たして逃げ切れるのか?

ゲーム終了間近（後書き）

ゲーム終了まで
残りおよそ5分！
残り3人！
田井中律、
高良みゆき、
永森やまと
の3人は
逃げ切れるのか？

ゲーム終了！（前書き）

ついにゲーム終了！

逃走成功者はいるのか？

ゲーム終了！

唯「残り5分切った！」

牢獄ぼんくら「イエーイーー！」

みさお「がんばれーーー！」

律「ヤバイ…緊張してる…」

みゆき「あと5分切りました。」「

やまと「…油断できない…もう少しで…監視ハンターが動く…」

監視ハンターは、

ゲーム時間残り4分で再び動きだす・・・

安心はできない・・・

律「もうすぐ4分だ…」

みゆき「危ないですね。」「…」

やまと「……動いても……隠れても……危ない……」

残り4分まで · · ·

5

4

(3)

2

卷之三

監視ハンター 再起動

みゆき「残り4分になりました…監視ハンターも動き出しますね…」

やあと「わいがんせぬしかない……」

律「へたに動けなくなつたな。」

監視ハンターが再びエリアを監視する・・・

そして、ハンターもエリ亞を探し回る・・・

アトラクションエリアにはみゆき・・・

イベントHコアにはやまとと律・・・

律「…ヤバイ、怖くなってきた…」

みゆき「…もう少しですね…緊張します…」

やまと「…逃げ切る…絶対に…」

ゲーム終了まで残り3分・・・

だが・・・

ペペペペペペペペペペ

監視ハンターが・・・

ピーン・ピーン・

逃走者を捕らえた！

見つかったのは・・・

みゆき「…ハンターに気をつけないと…」

みゆきだ・・・

地上のハンターが確保に動く！

みゆき「…一つ！イヤア！」

見つかった・・・

一度逃げのびたみゆき・・・

今度はどうだ・・・

ピ――――

更にもう1体のハンター！

みゆき「…あ――一つ！」

ボワン

高良みゆき 確保

残り2人

残り時間2分09秒

みゆき「あ～～、捕まっちゃいました…」

ゲーム終了まで残り2分

かがみ「あつ……」

こなた「だれ？」

かがみ「……みゆき……」

牢獄ほぼ全員「ええ～～～～！」

みなみ「みゆきさんガ……」

澪「あと2人！律と永森さんだ！」

牢獄ほぼ全員「行け～！逃げ切れ～～～！」

やまと「…あと2人…私と律だ…」

律「やまと…大丈夫かな？」

唯「まもなく1分。」

こなた「もう逃げ切ったんじゃない？」

ゲーム終了まで残り1分

律「あと一分……」

やまと「…………お願い……」

ゲーム終了まで45秒

律「……気がはやる……」

やまと「律大丈夫よね……」

捕まればここまで積み上げてきた賞金をすべて失う……

ゲーム終了まで30秒

律「もう少し……」

やまと「震えてきた……」

牢獄全員「25…24…23…22…21…20…19…18…1
7…16…15」「

ゲーム終了まで15秒

律「！来たーーー！」

ハンターに見つかった！
逃げ切れるのか？

やまと「…………」

牢獄全員「14...13...12...11...10...9...8...」

律「ハアツ」：ハアツ」

ફાન્ડિંગ

牢獄全員「5...4...3...2...1...ヤツター」

逃走成功

田井中律
144万円

律「……よつしや——! 逃げ切つた——!」

やまと「……よかつた……よかつた……（泣）」

「りっちゃんす」「い！」

「アーリー ショーハンマー」の名で、アーリー

牢獄全員「おめでと――！」

律「ヤツターバー！」

唯一「帰つて来た！！」

かがみ「おめでとう…」

やまと「よかつた…本当に…」

律「最後見つかってヤバかった…」

紺「それで逃げれたのです…」

いづ「やまとは賞金…」

やまと「うふ。半分、律に…」

律「え…」

やまと「…復活したから…」

かがみ「とこわけで…」

牢獄全員「2人ともおめでとーーー！」

律「ありがとーーー！」

やまと「ありがとうーーー！」

だが、

この様子をカメラ越しに
見てた人物がいた・・・

ゲーム終了！（後書き）

律とやまと

おめでとーーー！

しかし、

この様子を見てた人物とはいつたい・・・

謎の存在……（前書き）

ゲームは終わった……
しかし……

謎の存在……

夜の遊園地を舞台とした
逃走劇は終わった……

しかし、

逃走者は知らない……

何者かにずっと覗られていたことを……

? ? ? 1 「 ……無事に終了しました ……」

? ? ? 2 「 ……」苦労だつた ……」

? ? ? 3 「しかし、今回は難易度がまばらになつていていたと思われます

…

? ? ? 1 「 なに? ? ?

? ? ? 3 「序盤のは難しそぎ、終盤にかけて簡単になつていた…ゆえに、手を加えさせてもらいました…」

? ? ? 1 「 わせまーーー」

? ? ? 2 「 待てーーー」

? ? ? 1 「 ……」

??2「独断的な行動はいただけないが…私もそう思つ…」

??1「まつ…申し訳ございません…」

??2「わい、お前も同じ方だった…よ」

K「まつ…」

??2「…いや、いまは…警備員とつべきか?」

K（警備員）「いじ[冗談を…」

ミシシワノトキテ現れた夜じこ影、

停電、
落としたカードキー、

そして、

宝箱の楽譜を分けて管理室に置いたのも…。
すべて、警備員がわざと
やつたことだつた…。

K（警備員）「次の準備はいかがなさいますか?」

??2「まつ準備してある…」

K（警備員）「…この間で…」

??2「よく。整いしだい準備せよ…」

K（警備員）「はっ！」

そして、

次の逃走中に向けて

新たなメンバーが集められる・・・

ボスらしき人物が

持っていた資料には、

クラス写真や部活動の写真があった・・・

特徴として

1枚は

先生が少年であること、

もう1枚は

竹刀を持った少女が5人と少年が2人であることだった・・・

謎の存在……（後書き）

謎の人物が行う逃走中・・・
次に、逃走中をやるのは・・・
だれか・・・

そして、

次回最終回です！

終幕へ（前書き）

今回で最終回。
終幕です。

ゲームは終了した・・・

そこへ・・・

「嘘やん」

逃走者全員「え?」

そこにいたのは、

律「響やんにさわ...じゃなくて、奏さん...」

やまと「どうして」「うん~」

響、奏、佐竹とあのペアーニストだった・・・

唯「あの人をわちやんじやないの?」

憂「そっくつ...」

紬「本人じゃないんですか?」

初めて会った

けいおん!メンバーと・・・

みゆき「天原先生ですか?」

あやの「人違いにしては…」

「…似すぎだ…」

らき すたメンバー・・・

響「…本当にありがとうございました。」

律「え？」

響「あなた達のおかげで、大事なフルートが戻つてきました。」

佐竹「僕はまたみんなと笑いあえた。」

奏「私は大事な人に謝ることができた。」

ピアニスト「大事な楽譜が戻つてきて、大事な友にまた会つことができた。」

響「皆さんのおかげです。ありがとうございました。」

律「…私たちは…えと…」

やまと「…………たいしたことはしてません。」

奏「いいえ。私たちは感謝します。もう2度と会えないと思って

た友達に会えたから……」

響「あなた方がきつかけをくださった。本当にありがとうございます。」

律「えと……」

やまと「……」

澪「ほり、行けって。」

「おまえさ、うわー！」

律、やまと「わっ！」

澪「ほり。」

「うわー！」

律「…………おまえさ、あつがとうござります。」

やまと「…………あつがとうござります。」

律「私たちも大事なものを手に入れました。」

やまと「…………私たちも感謝します。」

律、やまと「あつがとうございました。」

響「……ふふっ、お互い様……」

奏「……もひ、お別れかな……」

響「そひ……ね……」

奏「最後に……」

律「はい？」

奏「あなた達の名前教えて……」

響「みんなの名前を……」

こなた「……泉こなたです。」

かがみ「…おまつ…一番最初に…」

つかせ「終つかせです。」

かがみ「…つかさまで…終かがみです。」

みゆき「高良みゆきと申します。」

みやお「わたし田中みやおです。」

あやの「峰岸あやのです。」

「八坂」

たまき「山辺たまきで～す。」

みく「毒島みく…です。」

ゆたか「小早川ゆたかです。」

みなみ「…北崎みなみです…」

ひより「田村ひよりですー！」

パーティ「パトリシア・マークインとモウシますー！」

いづみ「若瀬いづみです…」

唯「平沢唯で～す。」

澪「…秋山澪…です…」

紬「琴吹紬と申します。」

和「私は真鍋和です。」

梓「中野梓です。」

憂「平沢憂と言つます。」

純「鈴木純です。」

やまと「…永森やまと…です…」

響「あとはあなたね……」

律「私？私は田井中律！律って言います！」

響「へえー？」

奏「…律！？」

佐竹「……」

ピアニスト「へえー」

律「へつ？なにか？」

響「…いいえ。覚えておきます。私たちの恩人の名前…」

律「…それじゃ… わよくなら。」

逃走者全員「わよくならー」

こうして、

逃走者たちは去っていった・・・

響「…あの子の名前と同じなんて…律。」

律「不思議だな。フルートを持って来た子の名前と響にフルートを

あげた俺の名前がおんなじなんて……」

奏「私たちがあの子たちに会えたのは偶然じゃないかも……」

佐竹「今日とこいつ日は……一生忘れない……」

響「わたしも……」

奏「わたしもよ……」

律「俺もだ……」

佐竹「……3人とも会えて嬉しかったよ……」

響「……私たちは先にいくわ……」

奏「あっちであなたの音楽を聞いてるからね……」

律「また、一緒に演奏できる日を待ってるからな。」

佐竹「……ああ。」

響「元気でね……」

奏「ありがと……」

律「……じゃあな……」

佐竹「……じゃあ……」

夜だった遊園地は

朝を迎えた・・・

そこには、

幸せに満ちた1人の音楽家の姿があった・・・
のちに、

彼は生涯を音楽にそそいだ。

そして、

彼が亡くなつた日・・・

彼の死顔はとても安らかだつた。

あの世でまた楽しく

演奏していることだらう。

もちろん、

あの3人もいつしょに・・・

終幕へ（後書き）

「さき すた&けいおん！逃走中終わりました。
皆様のおかげで
終わりまでやれました。
ありがとうございました。」

次回作予告

あるマンガアニメキャラがとある場所に集まつた・・・
「これよりゲームを始める」

「？」「ハンター來た！」

「？」「誰かやるつて……」

「？」「どうしまじょい？」

「？」「やうなこと……」

「？」「行く！」

「？」「危ないかもしねない。けど、やるー。」

「？」「絶対行かない！」

マンガアニメNから17人
マンガアニメBから7人
計24人の逃走者たちの
運命は?

? ? 「…自首します…」

いつたいどうなる…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1460p/>

らき すた&けいおん！逃走中

2011年10月8日11時00分発行